

福祉の仕事に関する意識調査 報告書

令和7年3月

目次

I 調査概要	1
II 調査結果	2
1 中学生アンケート調査結果	2
2 高校生アンケート調査結果	7
3 中学生の保護者アンケート調査結果	14
4 高校生の保護者アンケート調査結果	17
5 中学校の教職員アンケート調査結果	20
6 高校の教職員アンケート調査結果	23
III 考察	26
1 調査結果からの特徴・課題のまとめ	26
2 課題改善に向けた提案	31
IV 資料	33

I 調査概要

1 調査目的

生徒(中学2年生及び高校2年生)・保護者・教職員の福祉の仕事に対するイメージを調査し、福祉職場の魅力促進を図る取組の参考とすることを目的とする。

2 調査対象

(1)調査対象校の選定方法

中学校 : 県内の中学2年生の全生徒数の概ね 10%以上から回答を得られるよう実施。県域を8ブロック(エリア)単位に区分し、エリアごとでも概ね 10%以上となるように、各エリア2校を選定。

高等学校: 県内の高等学校2年生の全生徒数の概ね 10%以上から回答を得られるよう実施。県域を8ブロック(エリア)単位に区分し、エリアごとでも概ね 10%以上となるように、学科等も考慮し 10 校を選定。

(2)調査対象校

中学校 16 校、高等学校 10 校

(3)調査対象者

調査対象校の中学校2年生及び高等学校2年生の全生徒・保護者・教職員

3 調査方法

(1)配布方法

調査対象校を通じ、生徒・教職員へ調査用紙を配付。保護者へは生徒を通じ、調査用紙を配付。(一部学校では、連絡網ツールを通じて回答フォームを配布。)

(2)回答方法

調査票中の二次元コードを読み取り、回答フォーム(Web)から回答。Web による回答が難しい場合は、個別に対応。

4 調査用紙配布数及び回収状況

	中学校			高等学校			
	生徒	保護者	教職員	生徒		保護者	教職員
				福祉系	福祉系以外*		
対象数	1,494	1,494	106	1,982		1,982	149
回収数	1,214	518	57	83	1,136	441	33
回収率	81.3%	34.7%	53.8%	61.5%		22.3%	22.1%

*「福祉系以外」には、「わからない」と回答した者を含む。

5 調査実施期間

2024 年 11 月 1 日～2024 年 11 月 30 日

6 調査結果の表示方法

- ・複数回答の比率は、各選択肢の回答数を当該設問における回答者数で除した比率であり、比率の合計は通常 100%を超えます。
- ・一部の図表に記載のある(N=〇〇)は、その設問における回答者数を表しています。

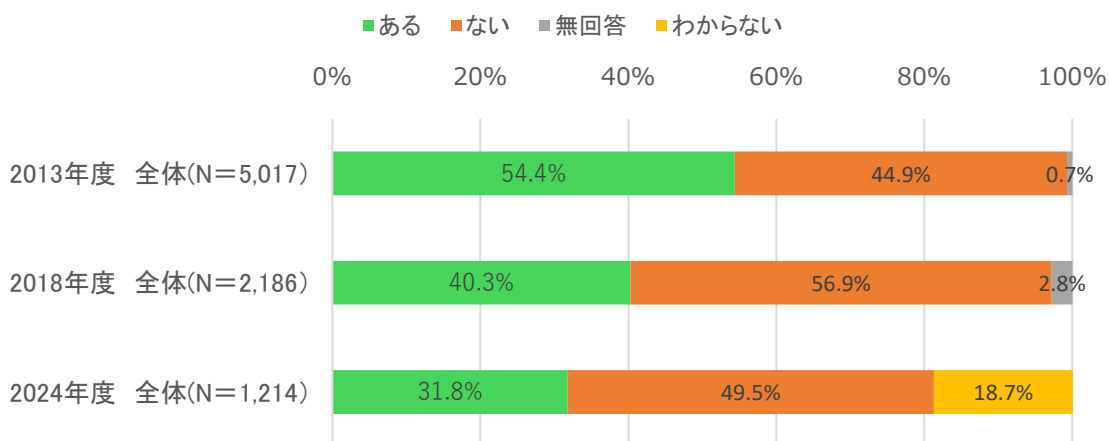
Ⅱ 調査結果

1 中学生アンケート調査結果

福祉施設等でのボランティア等の体験への参加

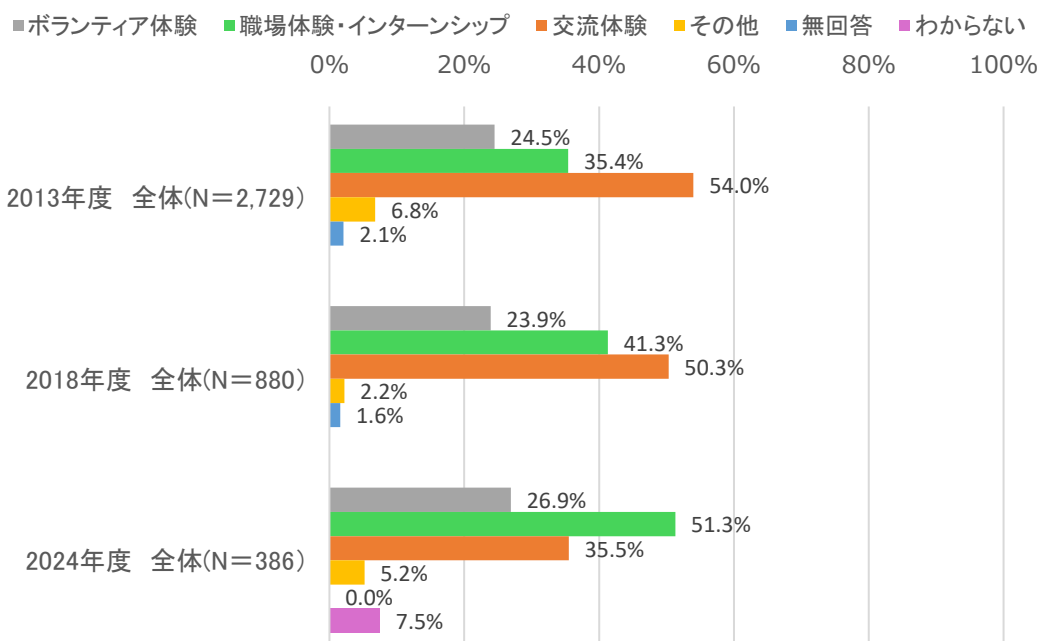
- 福祉施設等でのボランティア体験・職場体験・交流体験・その他(以下、「ボランティア等の体験」という。)への参加は約3割で、2018年度よりも減少。
- ・福祉施設等でのボランティア等の体験は、31.8%で2018年度と比較すると8.5ポイント減少した。さらに、2013年度と比較すると22.6ポイント減少している。
- ・体験内容のうち、交流体験の割合は、2018年度と比較して14.8ポイント減少した。一方で、職場体験・インターシップの割合は2018年度と比較して10.0ポイント増加して、50%を超えた。

■ 福祉施設等でのボランティア等の体験の有無



※「わからない」は2024年度のみを選択肢(以下、同じ)

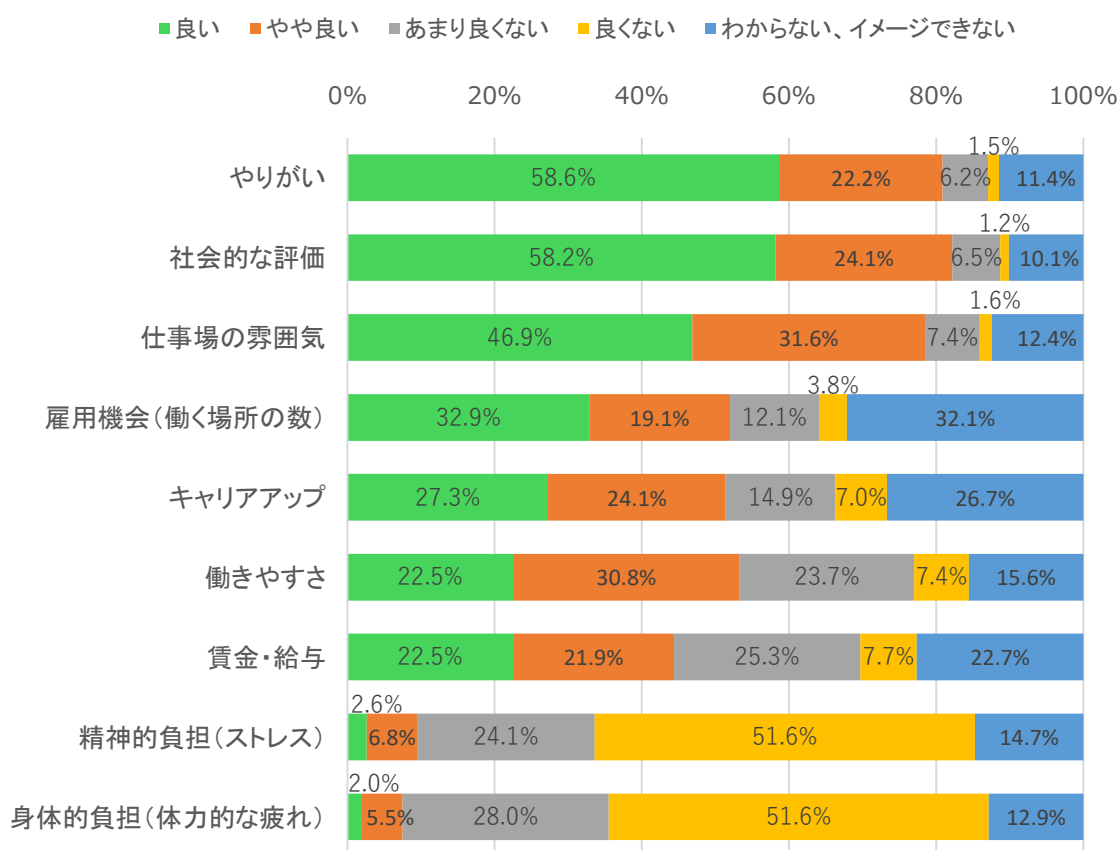
■ 福祉施設等でのボランティア等の体験の内容(複数回答)



福祉の仕事のイメージ

- 『やりがい』『社会的な評価』は8割以上が肯定的評価。
- 『精神的負担』『身体的負担』は7割以上が否定的評価。
- 『雇用機会』は3割以上が「わからない、イメージできない」と回答。
- ・肯定的評価が最も高いのは、『社会的な評価』(82.3%)、次いで『やりがい』(80.8%)、『仕事場の雰囲気』(78.5%)。『雇用機会(働く場所の数)』『キャリアアップ』『働きやすさ(労働時間、休日)』も肯定的評価が5割以上。
- ・否定的評価が最も高いのは、『身体的負担(体力的な疲れ)』(79.6%)、次いで『精神的負担(ストレス)』(75.7%)。

■福祉の仕事のイメージ



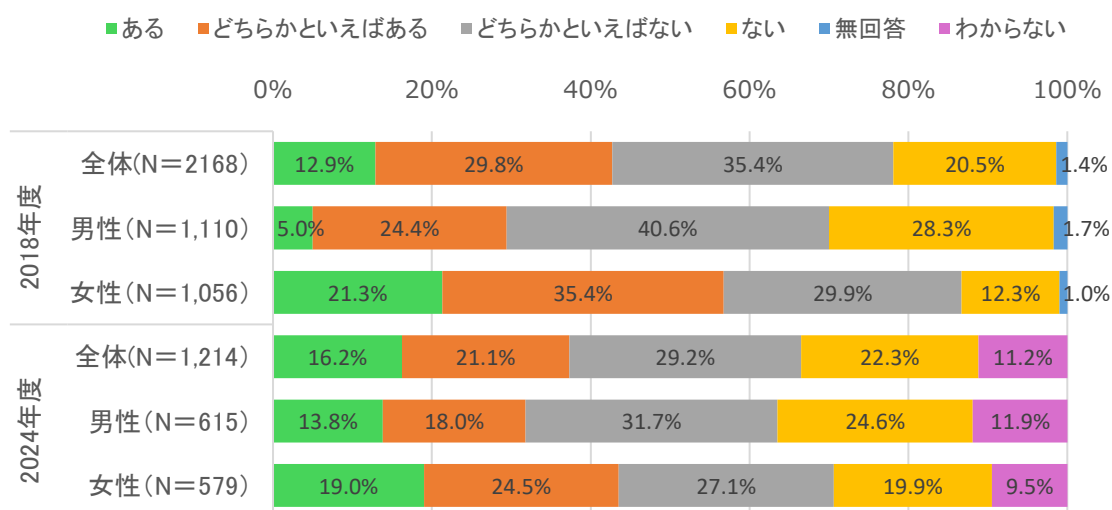
※上記「良い」「やや良い」「あまり良くない」「良くない」は、設問項目別に以下に置き換えて評価。

設問項目	良い	やや良い	あまり良くない	良くない
やりがい	大きい	やや大きい	やや小さい	小さい
雇用機会(働く場所の数)	多い	やや多い	やや少ない	少ない
キャリアアップ	しやすい	ややしやすい	ややしにくい	しにくい
精神的負担(ストレス)	小さい	やや小さい	やや大きい	大きい
身体的負担(体力的な疲れ)	小さい	やや小さい	やや大きい	大きい

福祉の仕事への興味・関心

- 福祉の仕事への興味・関心がある割合は約4割。女性は男性より高い。
- まわりに福祉の仕事の従事者がいることや、福祉施設等でのボランティア等の体験は、福祉の仕事への興味や関心を高める傾向がみられる。
- ・福祉の仕事への興味・関心がある割合は、37.3%。2018年度と比べると5.4ポイント減少した。性別でみると女性43.5%、男性が31.8%。
- ・まわりに福祉の仕事に就いている人がいる場合、福祉の仕事への興味・関心がある割合は、47.5%。いない場合に比べて15.9ポイント高い。
- ・福祉施設等でのボランティア等の体験がある場合、福祉の仕事への興味・関心がある割合は49.7%。体験がない場合に比べて18.8ポイント高い。

■福祉の仕事への興味・関心

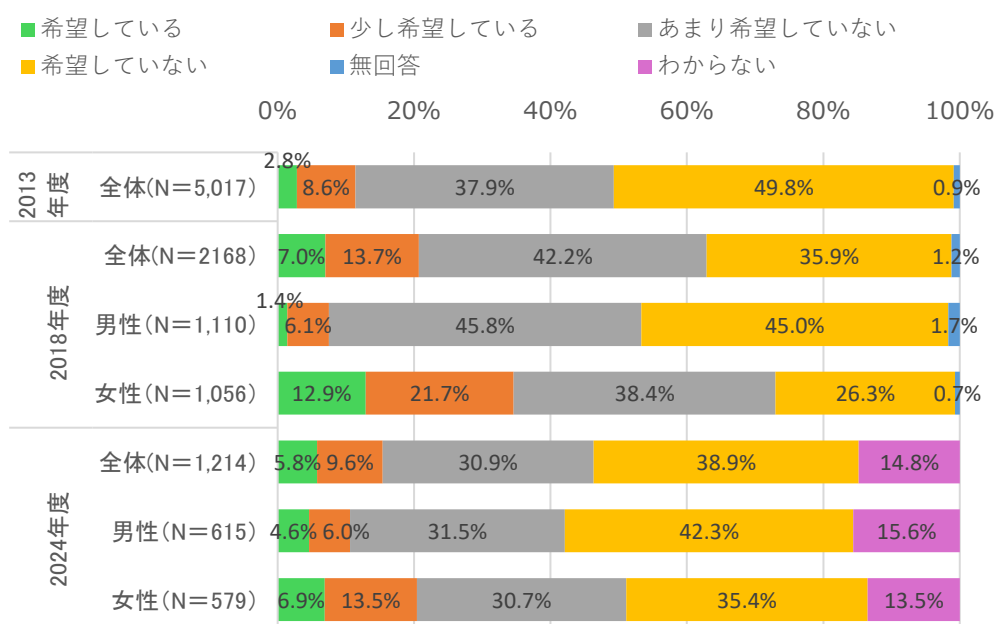


		福祉の仕事への興味関心					
		N数	あり	どちらかといえばあり	どちらかといえばない	ない	わからない
まわりに福祉の仕事に就いている人の有無	いる	447	21.3%	26.2%	28.6%	15.2%	8.7%
	いない	345	13.6%	18.0%	31.3%	29.9%	7.2%
	わからない	422	13.0%	18.2%	28.0%	23.7%	17.1%
福祉施設等での体験の有無	ある	386	21.2%	28.5%	26.4%	13.2%	10.6%
	ない	601	15.1%	15.8%	31.9%	28.5%	8.7%
	わからない	227	10.6%	22.5%	26.4%	21.6%	18.9%

将来の選択肢として福祉の仕事を希望すること

- 将来の選択肢として福祉の仕事を希望する割合は1割5分。女性は男性よりも高い。
- まわりに福祉の仕事の従事者がいることや、福祉施設等でのボランティア等の体験は、将来の選択肢として福祉の仕事を希望する割合を高める傾向がみられる。
- ・将来の選択肢として福祉の仕事を希望する割合は、15.4%。2018年度と比較すると5.3ポイント減少した。性別で見ると女性は20.4%、男性が10.6%。
- ・まわりに福祉の仕事に就いている人がいる場合、将来の選択肢として福祉の仕事を希望する割合は、22.8%。いない場合に比べて12.1ポイント高い。
- ・福祉施設等でのボランティア等の体験がある場合、将来の選択肢として福祉の仕事を希望する割合は26.2%。体験がない場合に比べて16.2ポイント高い。

■将来の選択肢として福祉の仕事を希望すること

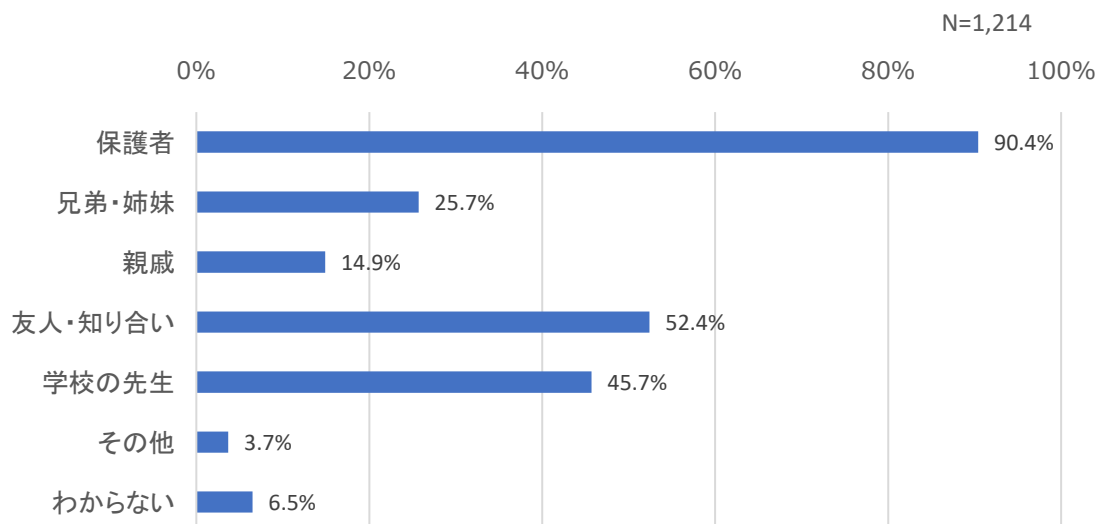


		将来の選択肢として福祉の仕事の希望					
		N数	希望している	少し希望している	あまり希望していない	希望していない	わからない
まわりに福祉の仕事に就いている人の有無	いる	447	9.6%	13.2%	33.3%	31.5%	12.3%
	いない	345	3.2%	7.5%	31.6%	47.0%	10.7%
	わからない	422	3.8%	7.6%	27.7%	40.0%	20.9%
福祉施設等で体験の有無	ある	386	9.1%	17.1%	31.1%	29.3%	13.5%
	ない	601	4.0%	6.0%	30.8%	47.4%	11.8%
	わからない	227	4.8%	6.6%	30.8%	32.6%	25.1%

進路を決めるときの相談相手

■ 進路を決めるときの相談相手は、「保護者」が9割以上。
 ・ 進路を決めるときの相談相手で最も多かったのが「保護者」で 90.4%、次いで「友人・知り合い」が 52.4%、学校の先生が 45.7%である。

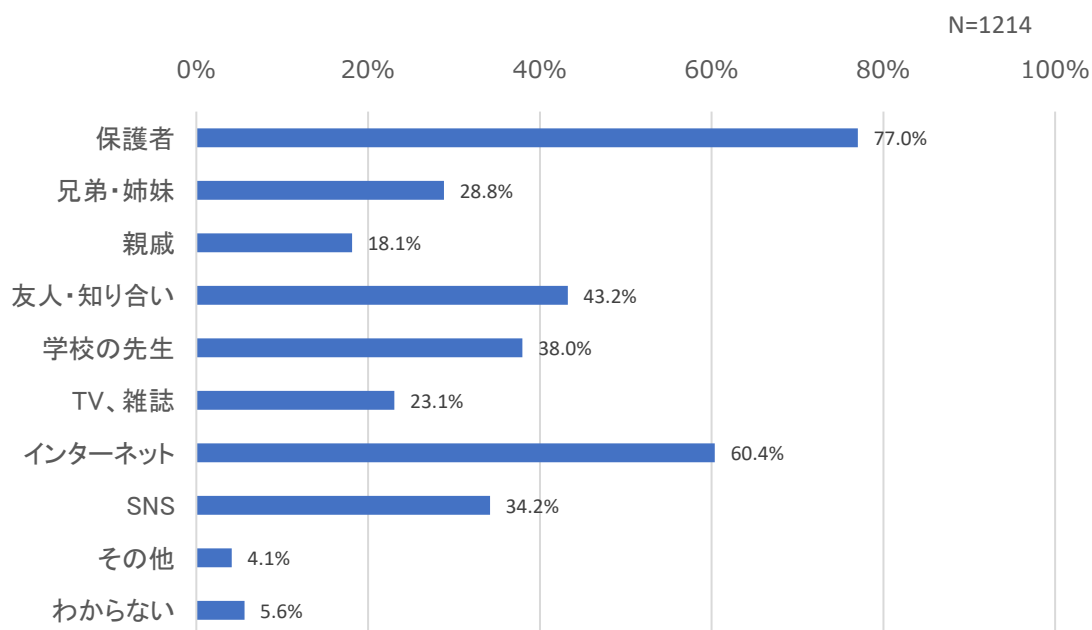
■ 進路を決めるときの相談相手(複数回答)



進路についての情報入手先

■ 進路についての情報入手先は、「保護者」が7割以上、「インターネット」が6割以上。
 ・ 進路についての情報入手先で最も多かったのが「保護者」で 77.0%、次いで「インターネット」が 60.4%、「友人・知り合い」が 43.2%、「学校の先生」が 38.0%、「SNS」が 34.2%である。

■ 進路についての情報入手先(複数回答)

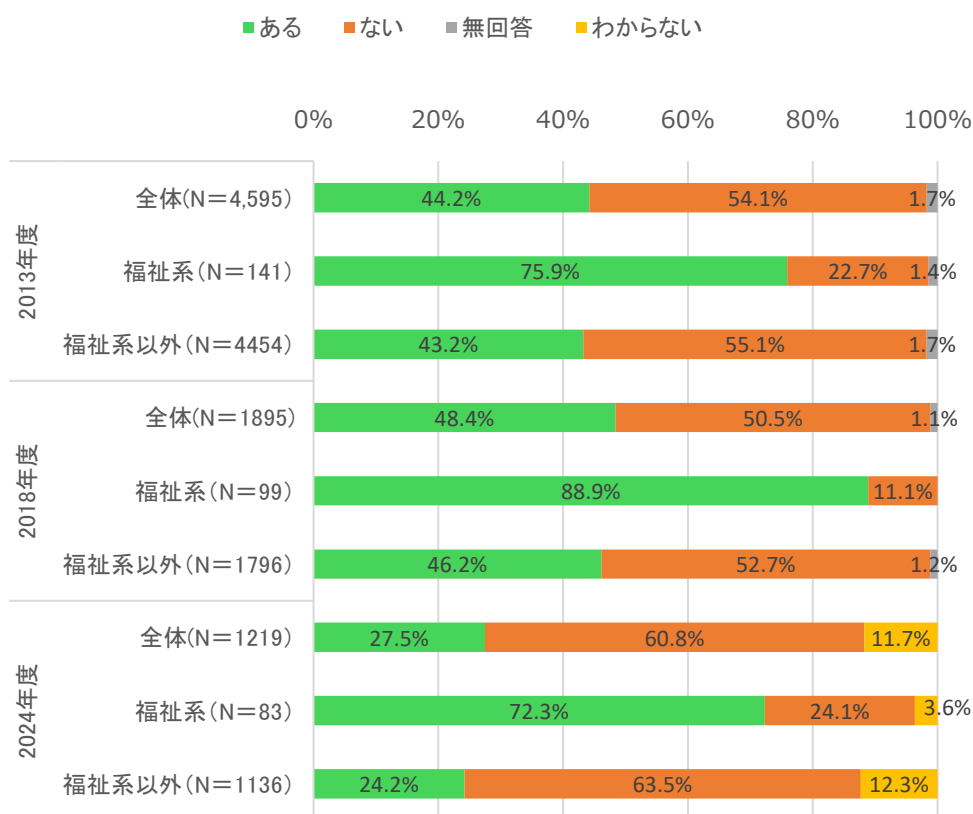


2 高校生アンケート調査結果

福祉施設等でのボランティア等の体験への参加

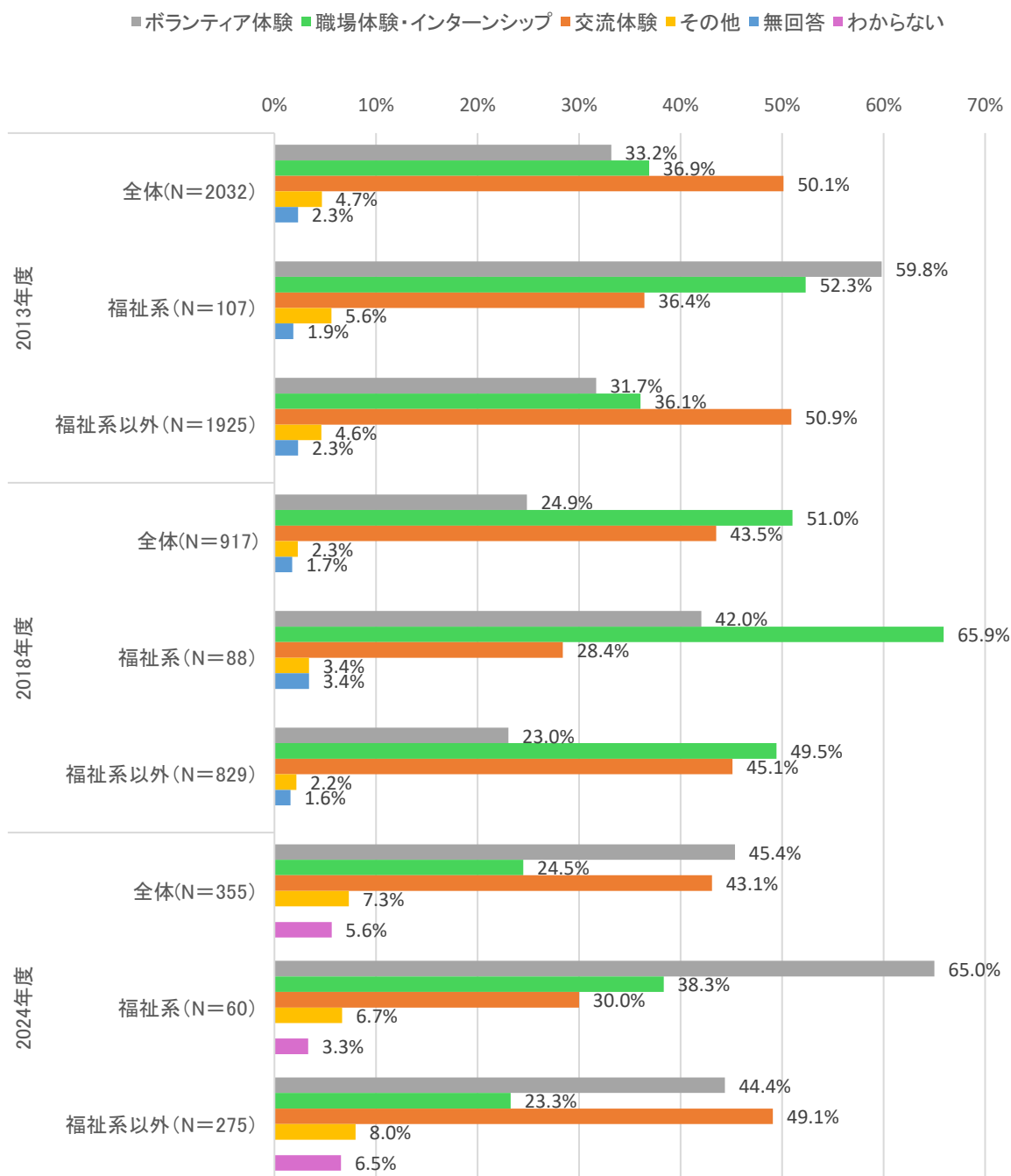
- 福祉施設等でのボランティア等の体験は全体で3割に届かず、2018 年度よりも福祉系コース、福祉系以外のコースいずれも減少している。
- ・ 福祉施設等でのボランティア等の体験は、福祉系コースで 72.3%、福祉系以外のコースで 24.2%。2018 年度と比較すると、福祉系コースで 16.6 ポイント、福祉系コース以外で 22 ポイント減少している。
- ・ 体験内容のうち、職場体験・インターシップの割合は 2018 年度と比較すると、福祉系コースで 27.6 ポイント、福祉系以外のコースで 26.2 ポイント減少している。ボランティア体験の割合は 2018 年度と比較すると、福祉系コースで 23.0 ポイント、福祉系以外のコースで 21.4 ポイント増加している。

■ 福祉施設等でのボランティア等の体験の有無



※「わからない」は 2024 年度のみを選択肢(以下、同じ)

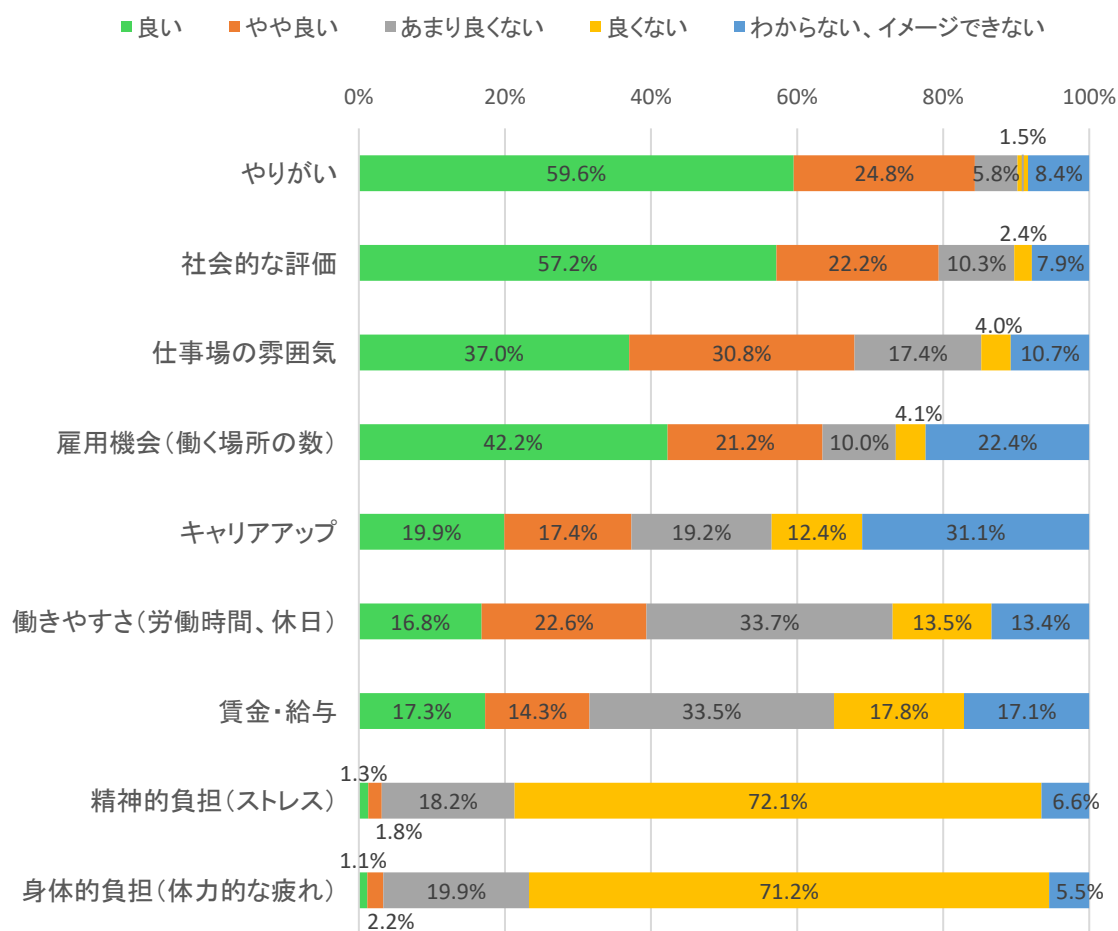
■ 福祉施設等でのボランティア等の体験の内容(複数回答)



福祉の仕事のイメージ

- 『やりがい』は8割以上が肯定的評価。『社会的な評価』も約8割弱が肯定的評価。
- 『精神的負担』『身体的負担』は9割以上が否定的評価。
- 『キャリアアップ』は3割以上が「わからない、イメージできない」と回答。
- ・肯定的評価が最も高いのは、『やりがい』(84.4%)、『社会的な評価』(79.4%)、次いで、『仕事場の雰囲気』(67.8%)。『雇用機会(働く場所の数)』も肯定的評価が6割以上。
- ・否定的評価が最も高いのは、『身体的負担(体力的な疲れ)』(91.1%)、次いで『精神的負担(ストレス)』(90.3%)。

■福祉の仕事のイメージ



※上記「良い」「やや良い」「あまり良くない」「良くない」は、設問項目別に以下に置き換えて評価。

設問項目	良い	やや良い	あまり良くない	良くない
やりがい	大きい	やや大きい	やや小さい	小さい
雇用機会(働く場所の数)	多い	やや多い	やや少ない	少ない
キャリアアップ	しやすい	ややしやすい	ややしにくい	しにくい
精神的負担(ストレス)	小さい	やや小さい	やや大きい	大きい
身体的負担(体力的な疲れ)	小さい	やや小さい	やや大きい	大きい

■コース・学科別による福祉の仕事のイメージ

	コース・学科	良い	やや良い	あまり良くない	良くない	わからない、イメージできない
やりがい	福祉系	71.1%	18.1%	4.8%	2.4%	3.6%
	福祉系以外	58.7%	25.3%	5.9%	1.4%	8.7%
社会的な評価	福祉系	62.7%	13.3%	15.7%	4.8%	3.6%
	福祉系以外	56.8%	22.9%	9.9%	2.2%	8.2%
仕事場の雰囲気	福祉系	56.6%	24.1%	12.0%	3.6%	3.6%
	福祉系以外	35.6%	31.3%	17.8%	4.0%	11.3%
雇用機会(働く場所の数)	福祉系	62.7%	22.9%	6.0%	2.4%	6.0%
	福祉系以外	40.8%	21.1%	10.3%	4.2%	23.6%
キャリアアップ	福祉系	42.2%	21.7%	12.0%	4.8%	19.3%
	福祉系以外	18.3%	17.1%	19.7%	12.9%	32.0%
働きやすさ(労働時間、休日)	福祉系	39.8%	21.7%	21.7%	10.8%	6.0%
	福祉系以外	15.1%	22.6%	34.6%	13.7%	13.9%
賃金・給与	福祉系	32.5%	16.9%	18.1%	26.5%	6.0%
	福祉系以外	16.2%	14.1%	34.6%	17.2%	18.0%
精神的負担(ストレス)	福祉系	1.2%	2.4%	15.7%	74.7%	6.0%
	福祉系以外	1.3%	1.8%	18.4%	71.9%	6.6%
身体的負担(体力的な疲れ)	福祉系	1.2%	2.4%	18.1%	75.9%	2.4%
	福祉系以外	1.1%	2.2%	20.1%	70.9%	5.7%

福祉系 (N = 83)

福祉系以外 (N = 1136)

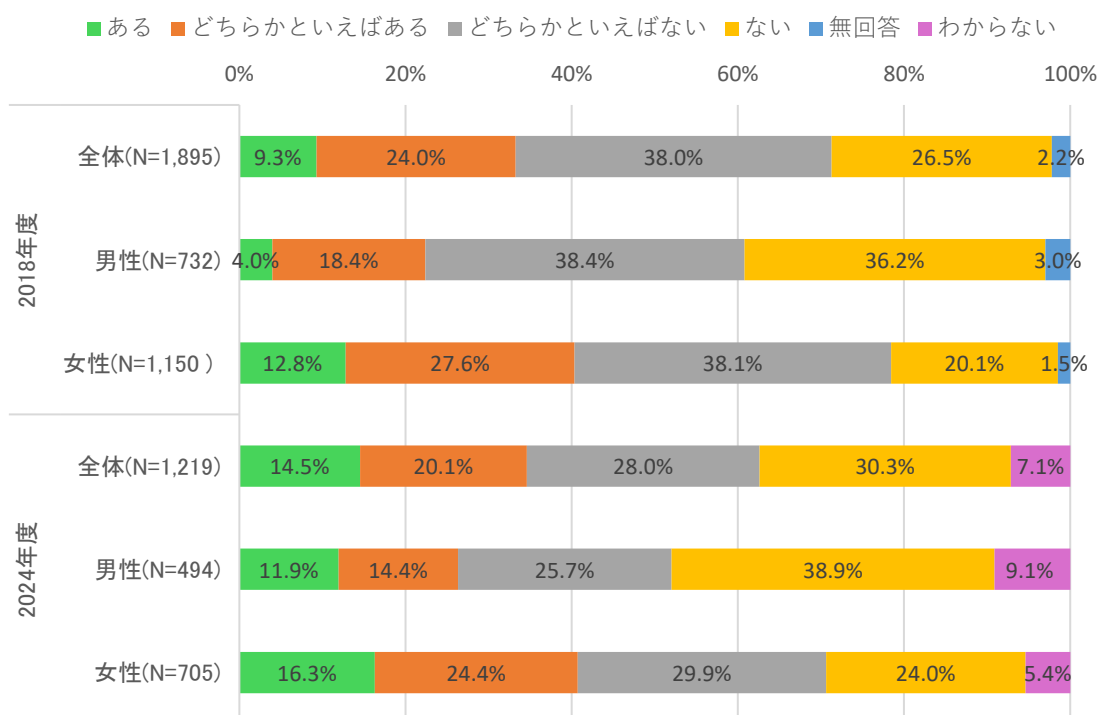
福祉の仕事への興味関心

■福祉の仕事への興味・関心がある割合は約3割5分。女性は男性よりも高い。

■まわりに福祉の仕事の従事者がいることや、福祉施設等でのボランティア等の体験は、福祉の仕事への興味・関心を高める傾向がみられる。

- ・福祉の仕事への興味・関心がある割合は、34.6%。2018年度とほぼ同程度の割合である。
- ・まわりに福祉の仕事に就いている人がいる場合、福祉の仕事への興味・関心がある割合は、44.1%。いない場合に比べて15.9ポイント高い。
- ・福祉施設等でのボランティア等の体験がある場合、福祉の仕事への興味・関心がある割合は、49.6%。ない場合に比べて20.9ポイント高い。

■福祉仕事への興味・関心

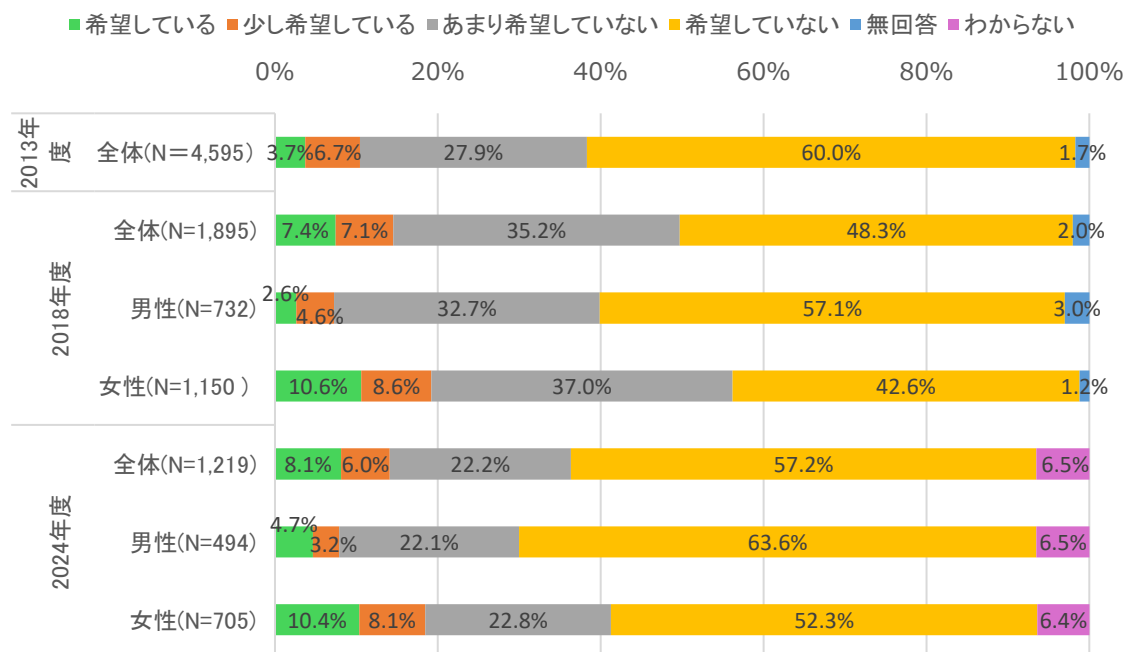


		福祉の仕事への興味・関心					
		N数	ある	どちらかとい えばある	どちらかとい えばない	ない	わからない
まわりに福 祉の仕事に 就いている 人の有無	いる	442	20.1%	24.0%	26.0%	24.7%	5.2%
	いない	526	10.3%	17.9%	30.6%	36.1%	5.1%
	わからない	251	13.5%	17.9%	25.9%	27.9%	14.7%
福祉施設等 でのボラン ティア等の 体験の有無	ある	335	24.2%	25.4%	23.9%	20.0%	6.6%
	ない	741	10.9%	17.8%	29.8%	36.0%	5.4%
	わからない	143	10.5%	19.6%	28.0%	24.5%	17.5%
通っている 学科・コース	福祉系	83	50.6%	28.9%	12.0%	6.0%	2.4%
	福祉系以外	1,136	11.9%	19.5%	29.1%	32.0%	7.5%

将来の選択肢として福祉の仕事を希望すること

- 将来の選択肢として福祉の仕事を希望する割合は約1割5分。女性は男性よりも高い。
- まわりに福祉の仕事の従事者がいることや、福祉施設等でのボランティア等の体験は、将来の選択肢として福祉の仕事を希望する割合を高める傾向がみられる。
- ・ 将来の選択肢として福祉の仕事を希望する割合は、14.1%。2018年度とほぼ同程度の割合である。
- ・ まわりに福祉の仕事に就いている人がいる場合、将来の選択肢として福祉の仕事を希望する割合は、23.3%。いない場合に比べて13.6ポイント高い。
- ・ 福祉施設等でのボランティア等の体験がある場合、将来の選択肢として福祉の仕事を希望する割合は、27.1%。ない場合に比べて17.4ポイント高い。

■ 将来の選択肢として福祉の仕事を希望すること

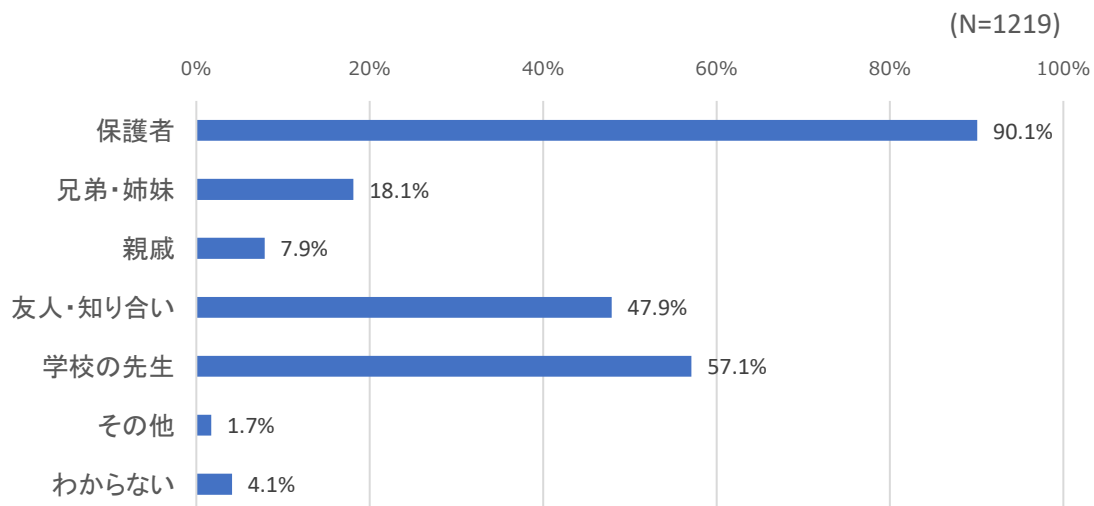


		N数	希望している	少し希望している	あまり希望していない	希望していない	わからない
まわりに福祉の仕事に就いている人の有無	いる	442	14.7%	8.6%	21.7%	49.8%	5.2%
	いない	526	4.8%	4.9%	21.9%	63.9%	4.6%
	わからない	251	3.6%	3.6%	23.9%	56.2%	12.7%
福祉施設等での体験の有無	ある	335	16.7%	10.4%	21.2%	42.7%	9.0%
	ない	741	5.1%	4.6%	21.5%	65.0%	3.8%
	わからない	143	3.5%	2.8%	28.7%	50.3%	14.7%
通っている学科・コース	福祉系	83	49.4%	16.9%	10.8%	16.9%	6.0%
	福祉系以外	1,136	5.1%	5.2%	23.1%	60.1%	6.5%

進路を決めるときの相談相手

■進路を決めるときの相談相手は、「保護者」が9割以上。
 ・進路を決めるときの相談相手で最も多かったのが「保護者」で 90.1%、次いで「学校の先生」が 57.1%、「友人・知り合い」が 47.9%である。

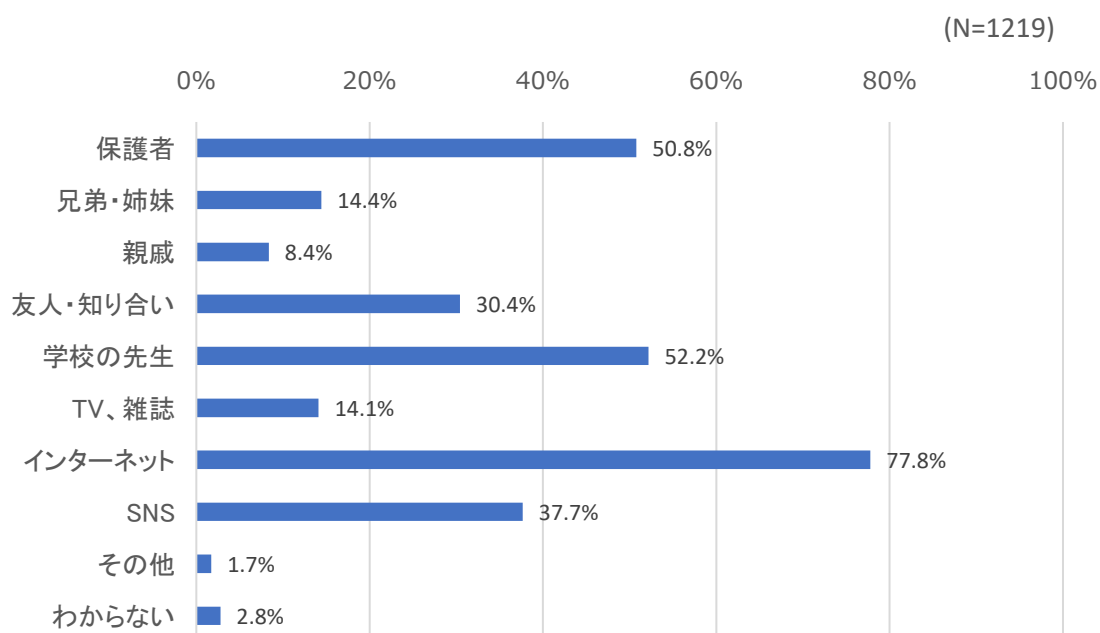
■進路を決めるときの相談相手(複数回答)



進路についての情報入手先

■進路についての情報入手先は、「インターネット」が7割を超えている。
 ・進路についての情報入手先で最も多かったのが「インターネット」で 77.8%、次いで「学校の先生」が 52.2%、「保護者」が 50.8%、「SNS」が 37.7%、「友人・知り合い」が 30.4%である。

■進路についての情報入手先(複数回答)

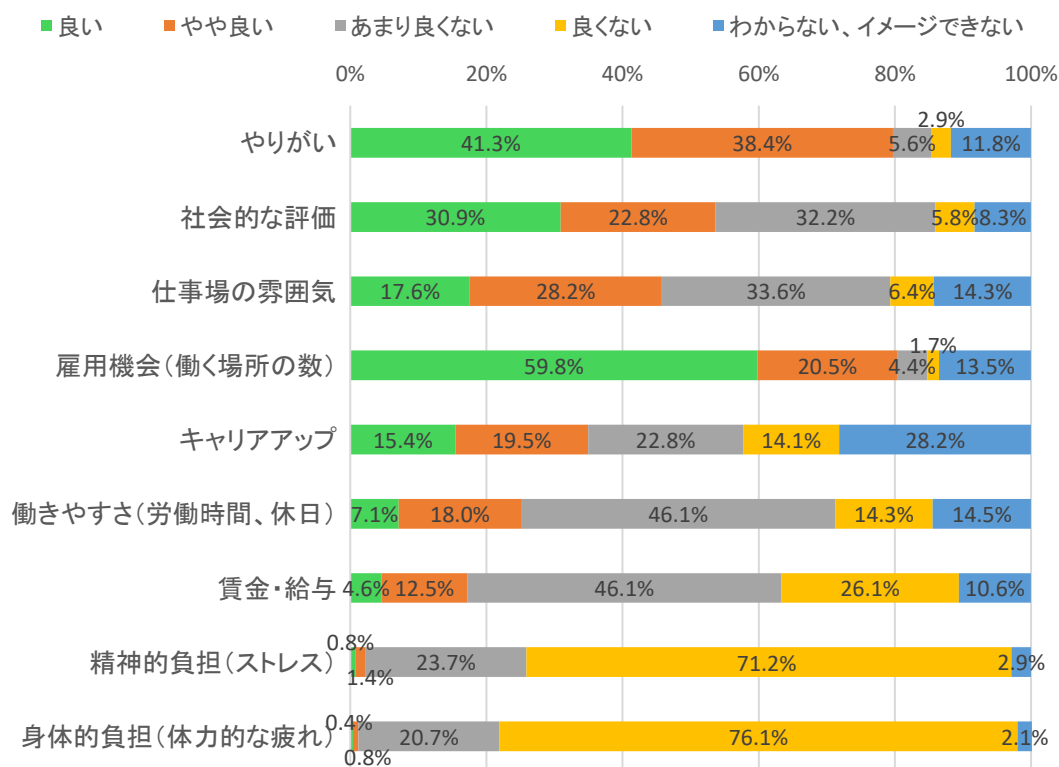


3 中学生の保護者アンケート調査結果

福祉の仕事のイメージ

- 『雇用機会(働く場所の数)』『やりがい』は、約8割が肯定的評価。
- 『身体的負担(体力的な疲れ)』や『精神的負担(ストレス)』は9割以上、『賃金・給与』は7割以上が否定的評価。
- ・肯定的評価が最も高いのは、『雇用機会(働く場所の数)』(80.3%)、次いで『やりがい』(79.7%)。『社会的な評価』も肯定的評価が5割以上。
- ・否定的評価が最も高いのは、『身体的負担(体力的な疲れ)』、(96.8%)、次いで『精神的負担(ストレス)』(94.9%)。特に「良くない」がいずれも7割以上。『賃金・給与』『働きやすさ(労働時間、休日)』も否定的評価が肯定的評価より高い。
- ・『キャリアアップ』は28.2%が「わからない、イメージできない」と回答。

■福祉の仕事のイメージ



※上記「良い」「やや良い」「あまり良くない」「良くない」は、設問項目別に以下に置き換えて評価。

設問項目	良い	やや良い	あまり良くない	良くない
やりがい	大きい	やや大きい	やや小さい	小さい
雇用機会(働く場所の数)	多い	やや多い	やや少ない	少ない
キャリアアップ	しやすい	ややしやすい	ややしにくい	しにくい
精神的負担(ストレス)	小さい	やや小さい	やや大きい	大きい
身体的負担(体力的な疲れ)	小さい	やや小さい	やや大きい	大きい

福祉の仕事子どもに勧めること

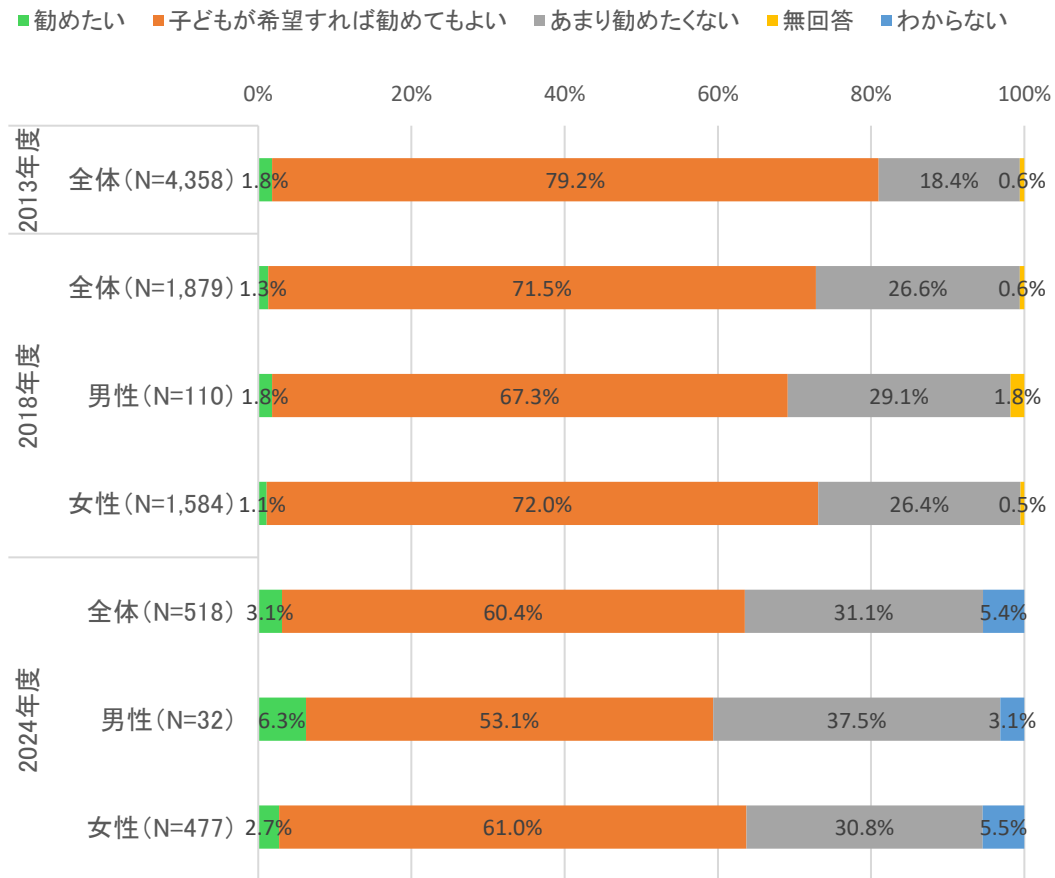
■福祉の仕事子どもに勧めることについて「子どもが希望すれば勧めてもよい」が6割以上。

■2018年度と比較すると「あまり勧めたくない」が増加している。一方で「勧めたい」がやや増加している。

・福祉の仕事子どもに勧めることについて「勧めたい」が3.1%。2018年度と比較すると1.8ポイント増加。一方、「子どもが希望すれば勧めてもよい」が60.4%。2018年度と比較すると、11.1ポイント減少。また、「あまり勧めたくない」は31.1%となり、2018年度と比較すると4.5ポイント増加。

・まわりに福祉の仕事に就いている人や保護者の性別による大きな差はみられない。

■福祉の仕事子どもに勧めること



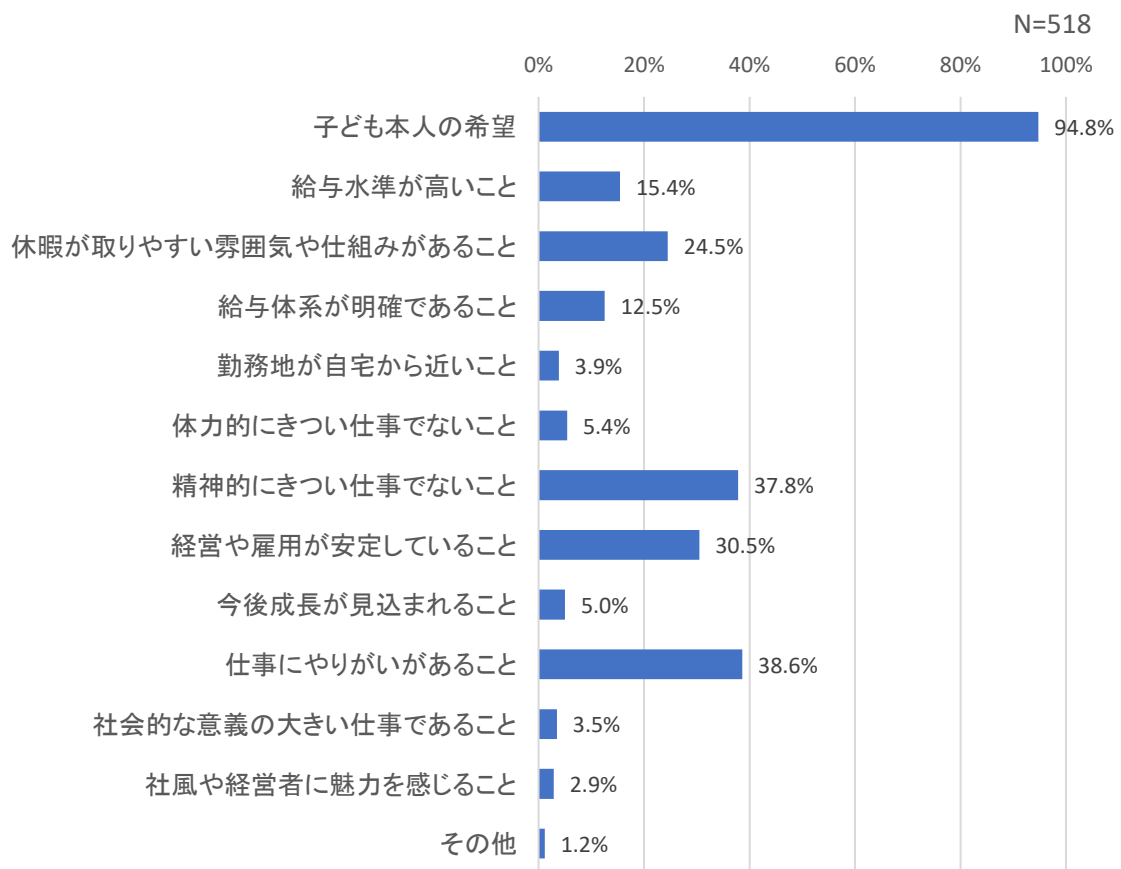
※「わからない」は2024年度のみを選択肢(以下、同じ)

		子どもに福祉の仕事勧めること				
		N数	勧めたい	子どもが希望すれば勧めてもよい	あまり勧めたくない	わからない
まわりに福祉の仕事に就いている(いた)人の有無	いる	387	3.6%	61.8%	30.7%	3.9%
	いない	122	1.6%	54.1%	33.6%	10.7%
	わからない	9	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%

子どもの就職先の相談に乗るときに重視すること

- 子どもの就職先の相談に乗るときに重視することは「子ども本人の希望」が9割以上。
- 「仕事にやりがいがあること」「精神的にきつい仕事でないこと」「経営や雇用が安定していること」が3割以上。
- ・子どもの就職先の相談に乗るときに重視することで最も多いのは「子ども本人の希望」(94.8%)。次いで「仕事にやりがいがあること」(38.6%)、「精神的にきつい仕事でないこと」(37.8%)、「経営や雇用が安定していること」(30.5%)。
- ・「精神的にきつい仕事でないこと」が37.8%。一方で「体力的きつい仕事でないこと」は5.4%である。

■子どもの就職先の相談に乗るとき重視すること(複数回答 最大3つまで)

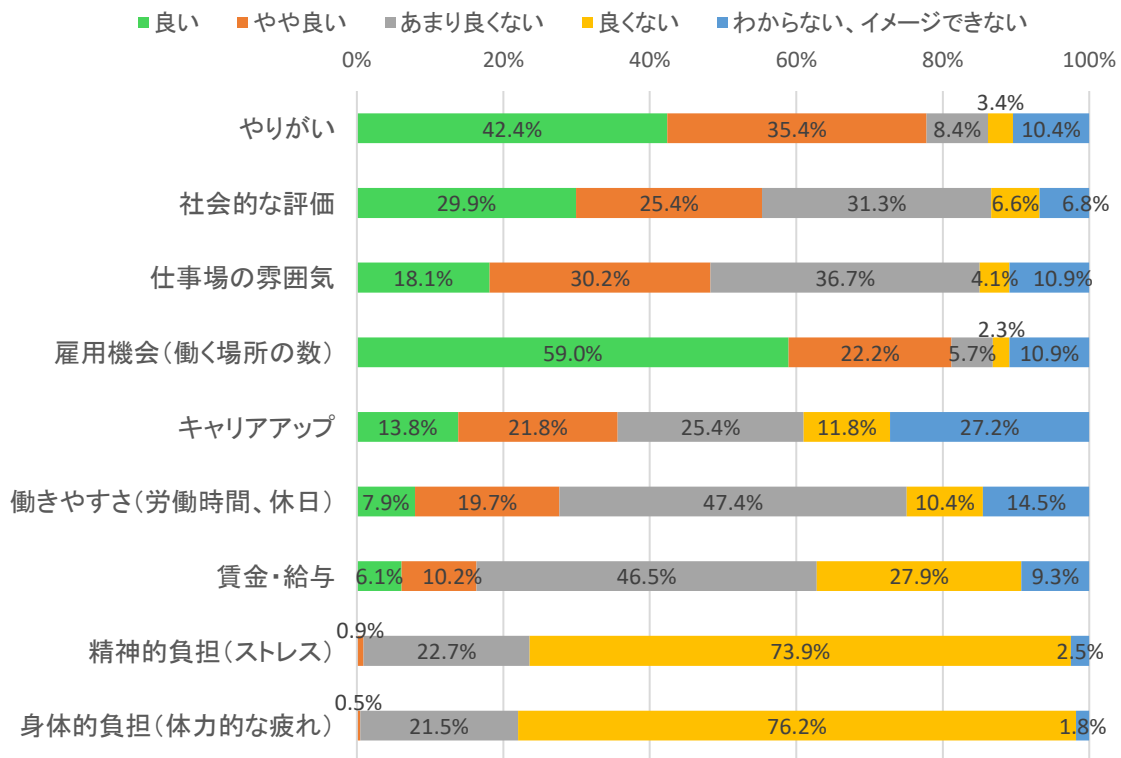


4 高校生の保護者アンケート調査結果

福祉の仕事のイメージ

- 『雇用機会(働く場所の数)』は、約8割が肯定的評価。
- 『身体的負担(体力的な疲れ)』や『精神的負担(ストレス)』は9割以上、『賃金・給与』は7割以上が否定的評価。
- ・肯定的評価が最も高いのは、『雇用機会(働く場所の数)』(81.2%)、次いで『やりがい』(77.8%)。『社会的な評価』も肯定的評価が5割以上。
- ・否定的評価が最も高いのは、『身体的負担(体力的な疲れ)』、(97.7%)、次いで『精神的負担(ストレス)』(96.6%)。「良くない」がいずれも7割以上。『賃金・給与』『働きやすさ(労働時間、休日)』も否定的評価が肯定的評価より高い。
- ・『キャリアアップ』は27.2%が「わからない、イメージできない」と回答。

■福祉の仕事のイメージ



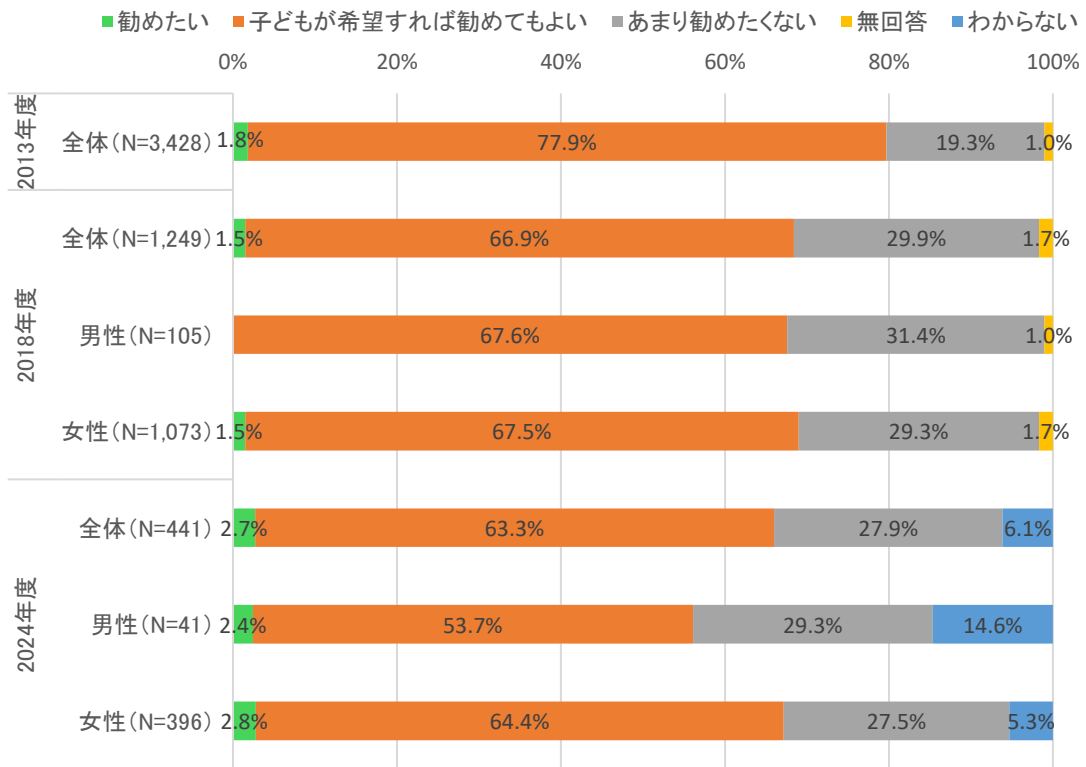
※上記「良い」「やや良い」「あまり良くない」「良くない」は、設問項目別に以下に置き換えて評価。

設問項目	良い	やや良い	あまり良くない	良くない
やりがい	大きい	やや大きい	やや小さい	小さい
雇用機会(働く場所の数)	多い	やや多い	やや少ない	少ない
キャリアアップ	しやすい	ややしやすい	ややしにくい	しにくい
精神的負担(ストレス)	小さい	やや小さい	やや大きい	大きい
身体的負担(体力的な疲れ)	小さい	やや小さい	やや大きい	大きい

福祉の仕事を子どもに勧めること

■福祉の仕事を子どもに勧めることについて「子どもが希望すれば勧めてもよい」が6割以上。
 ■子どもが福祉系コースに通っている場合、「勧めたい」「子どもが希望すれば勧めてもよい」の割合が高い。
 ・福祉の仕事を子どもに勧めることについて「子どもが希望すれば勧めてもよい」が 63.3%。「勧めたい」が 2.7%。
 ・まわりに福祉の仕事に就いている人の有無や保護者の性別による大きな差はみられない。
 ・子どもが福祉系コースに通っている場合は、福祉系以外のコースに通っている場合に比べて「勧めたい」(8.0%)が 5.6ポイント、「子どもが希望すれば勧めてもよい」(80.0%)が 17.7ポイント高い。

■福祉の仕事を子どもに勧めること



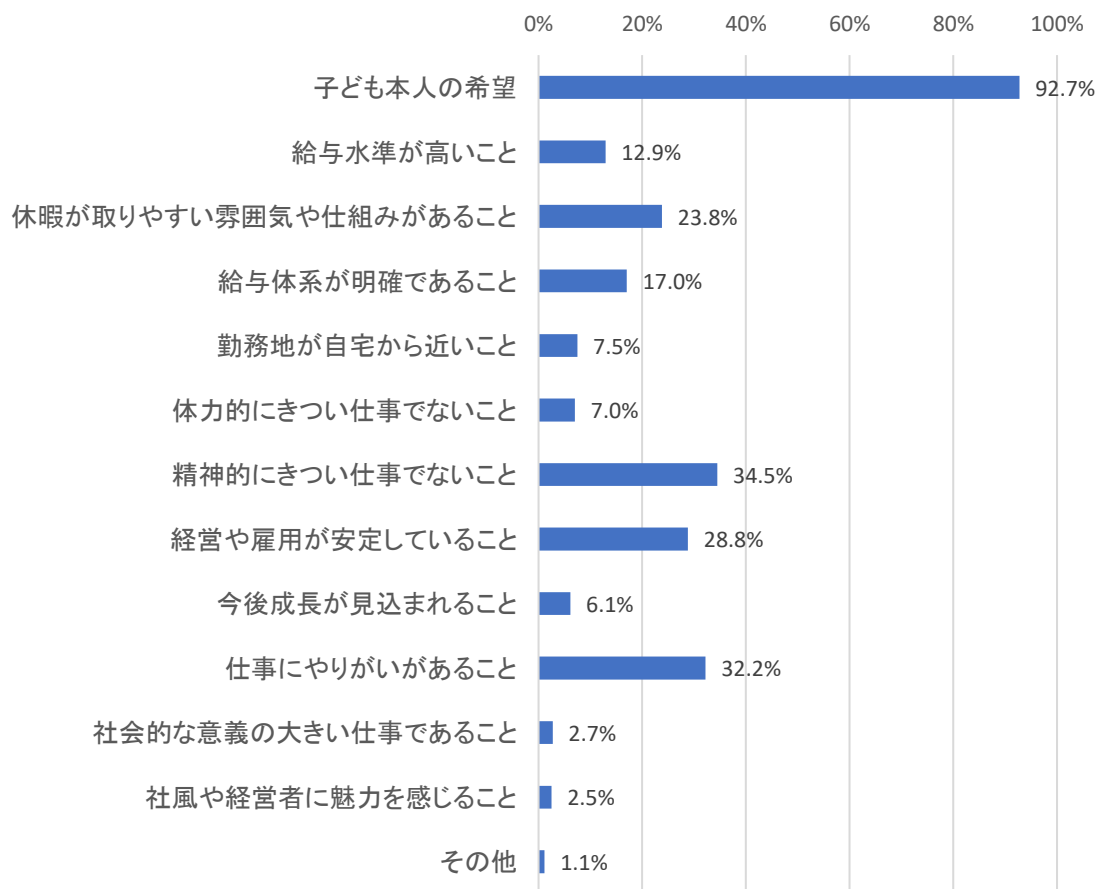
※「わからない」は 2024 年度のみを選択肢(以下、同じ)

		子どもに福祉の仕事をお勧めすること				
		N数	勧めたい	子どもが希望すれば勧めてもよい	あまり勧めたくない	わからない
まわりに福祉の仕事に就いている(いた)人の有無	いる	319	2.5%	65.8%	27.6%	4.1%
	いない	117	3.4%	57.3%	28.2%	11.1%
	わからない	5	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%
子どもが通う学校のコース・学科	福祉系	25	8.0%	80.0%	8.0%	4.0%
	福祉系以外	416	2.4%	62.3%	29.1%	6.3%

子どもの就職先の相談に乗るとき重視すること

■子どもの就職先の相談に乗るとき重視することは「子ども本人の希望」が9割以上。
 ■「仕事にやりがいがあること」「精神的にきつい仕事でないこと」が3割以上。
 ・子どもの就職先の相談に乗るとき重視することで最も高いのは「子ども本人の希望」(92.7%)。次いで「精神的にきつい仕事でないこと」(34.5%)、「仕事にやりがいがあること」(32.2%)、「経営や雇用が安定していること」(28.8%)。
 ・「精神的にきつい仕事でないこと」が 34.5%。一方で「体力的にきつい仕事でないこと」は 7.0% となった。

■子どもの就職先の相談に乗るとき重視すること(複数回答 最大3つまで)

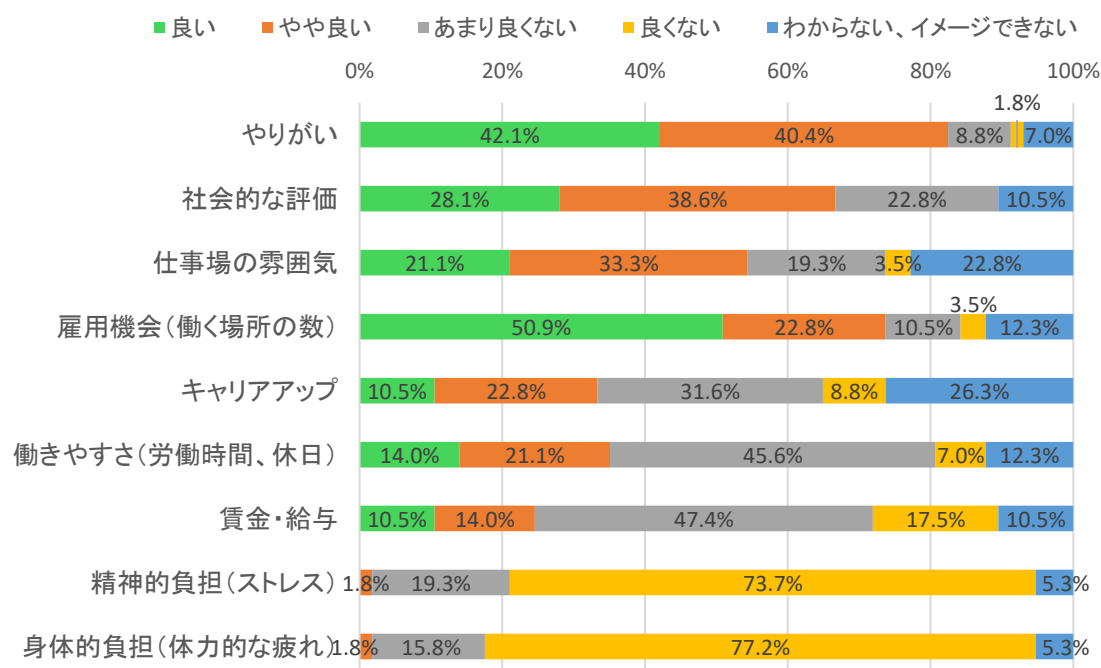


5 中学校の教職員アンケート調査結果

福祉の仕事のイメージ

- 『やりがい』は8割以上、『雇用機会(働く場所の数)』は7割以上が肯定的評価。
- 『身体的負担(体力的な疲れ)』や『精神的負担(ストレス)』は9割以上、『賃金・給与』は6割以上が否定的評価。
- ・肯定的評価が最も高いのは、『やりがい』(82.5%)、次いで『雇用機会(働く場所の数)』(73.7%)。『社会的な評価』『仕事場の雰囲気』も肯定的評価が5割以上。
- ・否定的評価が最も高いのは、『精神的負担(ストレス)』『身体的負担(体力的な疲れ)』(いずれも 93.0%)。いずれも「良くない」が7割以上。『働きやすさ(労働時間、休日)』『賃金・給与』も否定的評価が肯定的評価より高い。
- ・『キャリアアップ』は 26.3%が「わからない、イメージできない」と回答。

■福祉の仕事のイメージ



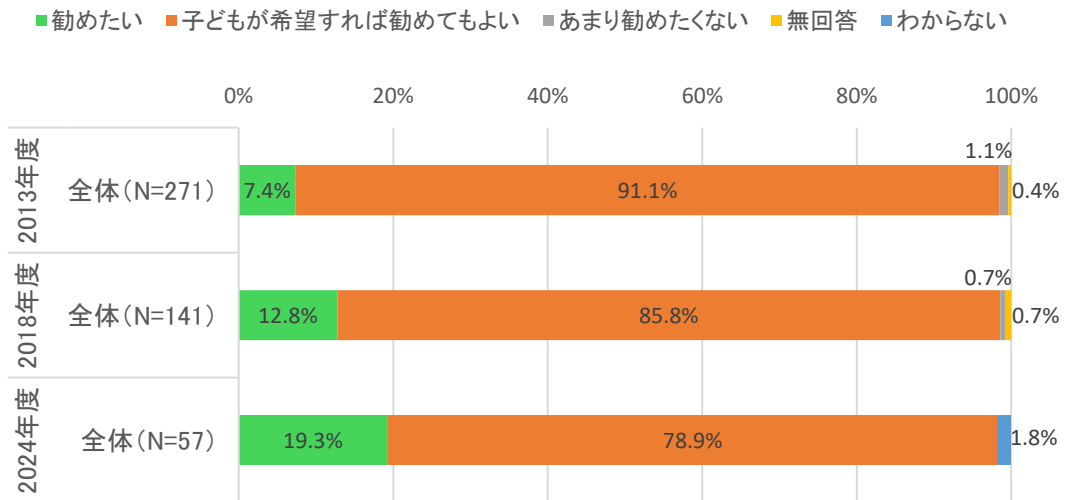
※上記「良い」「やや良い」「あまり良くない」「良くない」は、設問項目別に以下に置き換えて評価。

設問項目	良い	やや良い	あまり良くない	良くない
やりがい	大きい	やや大きい	やや小さい	小さい
雇用機会(働く場所の数)	多い	やや多い	やや少ない	少ない
キャリアアップ	しやすい	ややしやすい	ややしにくい	しにくい
精神的負担(ストレス)	小さい	やや小さい	やや大きい	大きい
身体的負担(体力的な疲れ)	小さい	やや小さい	やや大きい	大きい

福祉の仕事を生徒に勧めること

- 福祉の仕事を生徒に勧めることについて「子どもが希望すれば勧めてもよい」が約8割。「勧めたい」は約2割。2018年度と比較すると「勧めたい」が増加。
- ・福祉の仕事を生徒に勧めることについて「子どもが希望すれば勧めてもよい」が78.9%、「勧めたい」が19.3%。「勧めたい」は、2018年度と比較すると6.5ポイント増加。

■福祉の仕事を生徒に勧めること

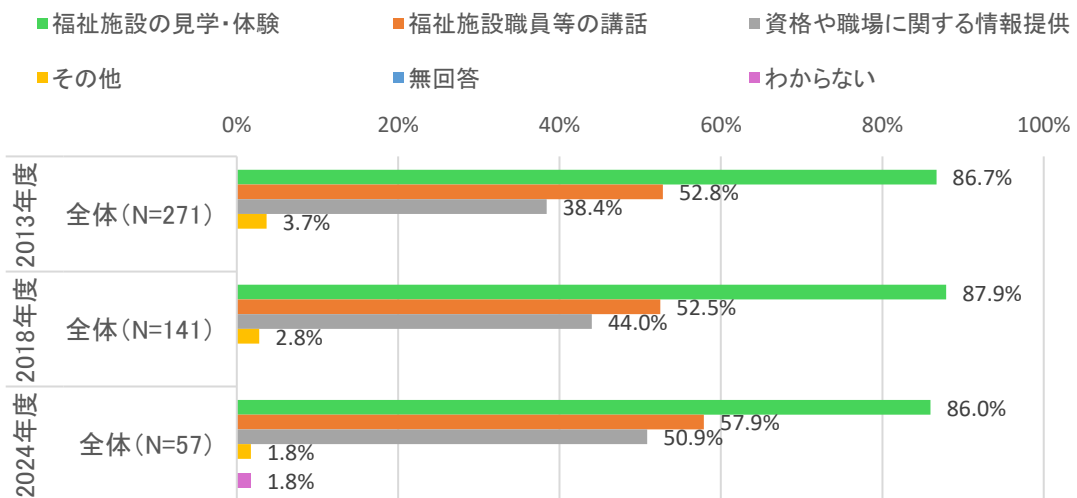


※「わからない」は2024年度のみを選択肢(以下、同じ)

生徒に関心を持ってもらうために有効なこと

- 生徒に関心を持ってもらうために有効なことについて「福祉施設の見学・体験」が8割以上。
- ・2018年度と大きな差はみられない。

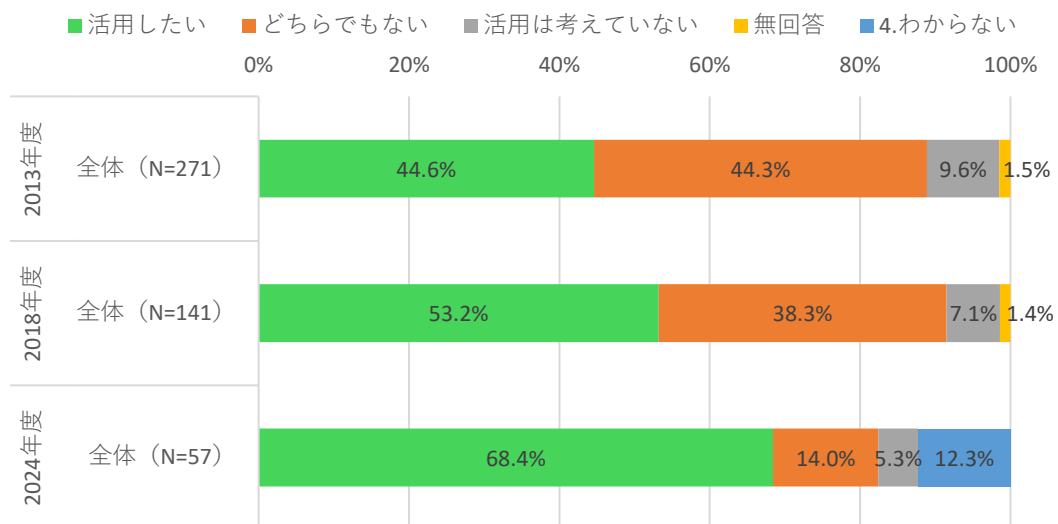
■生徒に関心を持ってもらうために有効なこと(複数回答)



福祉人材センター事業の活用

■福祉人材センターの実施事業の活用意向は、約7割。2018年度と比較すると増加。
 ・福祉人材センターの実施事業の活用意向について「活用したい」が68.4%。2018年度と比較すると15.2ポイント増加。

■福祉人材センター実施事業の活用活用

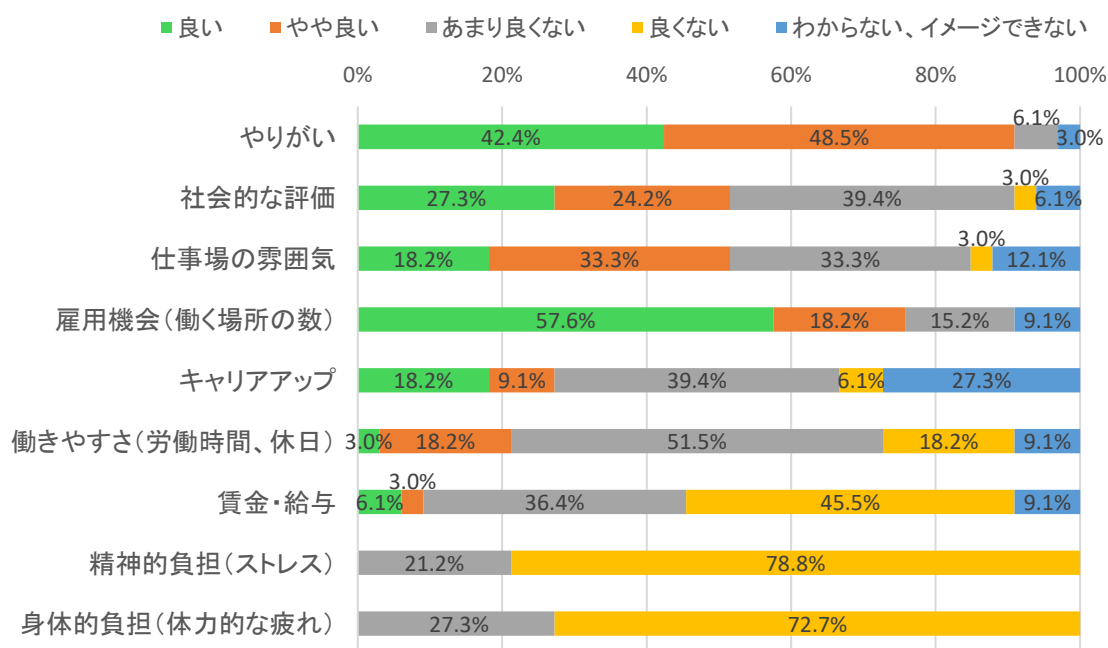


6 高校の教職員アンケート調査結果

福祉の仕事のイメージ

- 『やりがい』は9割以上、『雇用機会(働く場所の数)』は7割以上が肯定的評価。
- 『身体的負担(体力的な疲れ)』や『精神的負担(ストレス)』は10割、『賃金・給与』は8割以上が否定的評価。
- ・肯定的評価が最も高いのは、『やりがい』(90.9%)、次いで『雇用機会(働く場所の数)』(75.8%)。『社会的な評価』『仕事場の雰囲気』も肯定的評価が5割以上。
- ・否定的評価が最も高いのは、『精神的負担(ストレス)』『身体的負担(体力的な疲れ)』(いずれも100%)。いずれも「良くない」が7割以上。『働きやすさ(労働時間、休日)』『賃金・給与』も否定的評価が肯定的評価より高い。
- ・『キャリアアップ』は27.3%が「わからない、イメージできない」と回答。

■福祉の仕事のイメージ



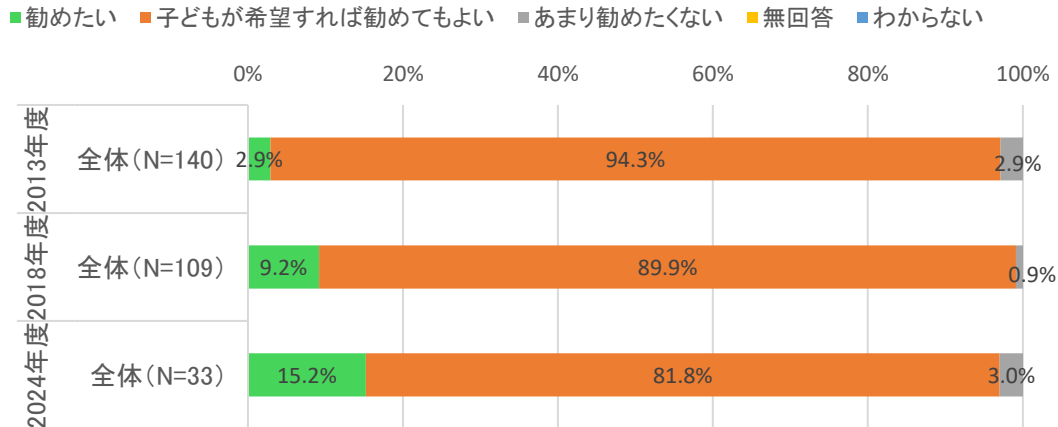
※上記「良い」「やや良い」「あまり良くない」「良くない」は、設問項目別に以下に置き換えて評価。

設問項目	良い	やや良い	あまり良くない	良くない
やりがい	大きい	やや大きい	やや小さい	小さい
雇用機会(働く場所の数)	多い	やや多い	やや少ない	少ない
キャリアアップ	しやすい	ややしやすい	ややしにくい	しにくい
精神的負担(ストレス)	小さい	やや小さい	やや大きい	大きい
身体的負担(体力的な疲れ)	小さい	やや小さい	やや大きい	大きい

福祉の仕事を生徒に勧めること

- 福祉の仕事を生徒に勧めることについて「子どもが希望すれば勧めてもよい」が約8割。「勧めたい」は、2018年度と比較すると増加した。
- ・福祉の仕事を生徒に勧めることについて「子どもが希望すれば勧めてもよい」が81.8%。「勧めたい」は15.2%で、2018年度と比較すると6.0ポイント増加。

■福祉の仕事を生徒に勧めること

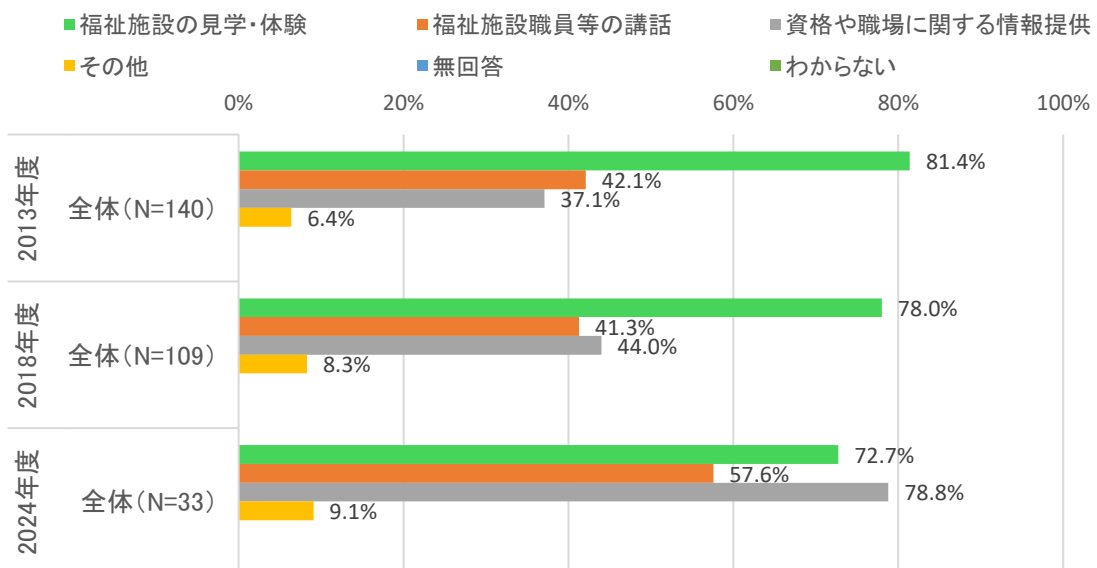


※「わからない」は2024年度のみを選択肢(以下、同じ)

生徒に関心を持ってもらうために有効なこと

- 生徒に関心を持ってもらうために有効なことについて「資格や職場に関する情報提供」が8割。「福祉施設の見学・体験」が約7割。
- ・生徒に関心を持ってもらうために有効なことについて「資格や職場に関する情報提供」が78.8%。2018年度と比較すると34.8ポイント増加。

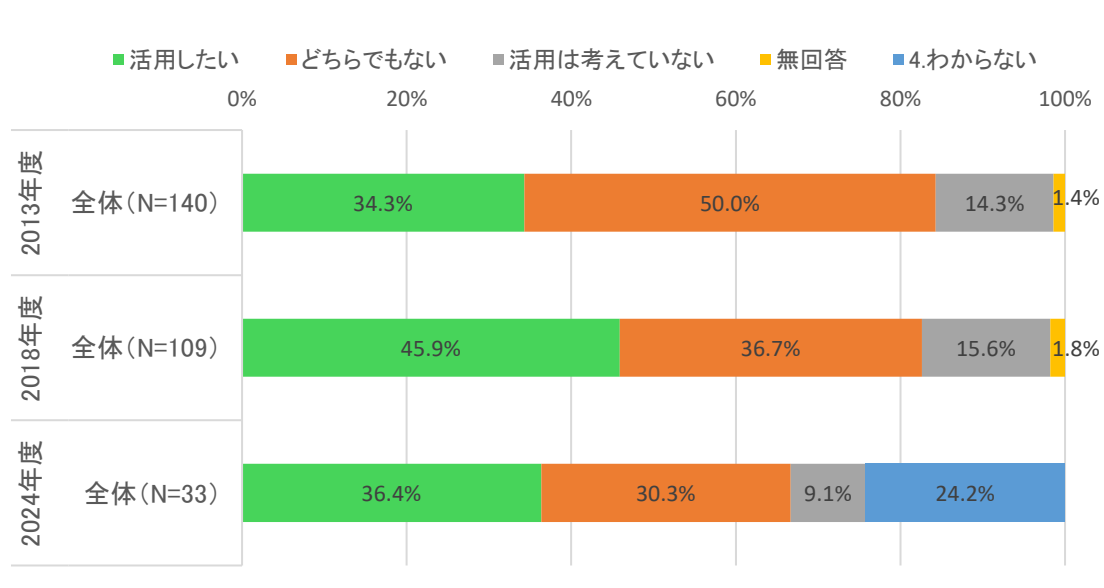
■生徒に関心を持ってもらうために有効なこと(複数回答)



福祉人材センター事業の活用

■ 福祉人材センターの実施事業の活用意向は、3割以上。2018年度と比較すると減少。
 ・福祉人材センターの実施事業の活用意向について「活用したい」が36.4%。2018年度と比較すると9.5ポイント減少。

■ 福祉人材センター実施事業の活用活用



Ⅲ 考察

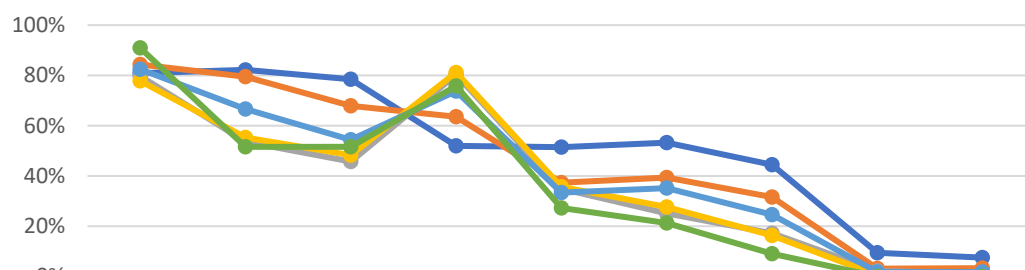
1 調査結果からの特徴・課題のまとめ

■福祉の仕事のイメージ

○全調査対象において、「やりがい」の項目で肯定的な評価が高い一方、「精神的負担」「身体的負担」の項目で肯定的な評価が低い

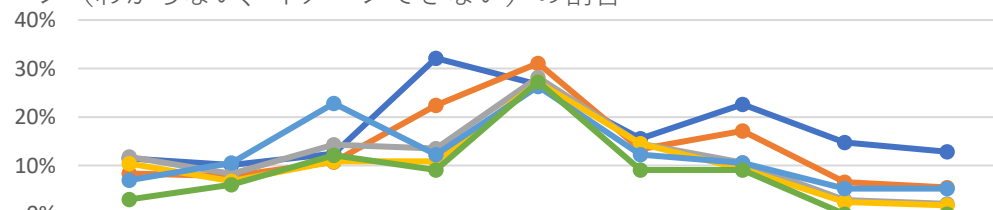
○全調査対象において、「キャリアアップ」の項目で 25%以上が「わからない、イメージできない」と回答

福祉のイメージ（肯定的評価）の割合



	やりがい	社会的な評価	仕事場の雰囲気	雇用機会	キャリアアップ	働きやすさ	賃金・給与	精神的負担	身体的負担
中学生	80.9%	82.2%	78.5%	52.0%	51.4%	53.3%	44.4%	9.5%	7.5%
高校生	84.3%	79.4%	67.8%	63.5%	37.3%	39.4%	31.6%	3.1%	3.4%
中学生保護者	79.7%	53.7%	45.8%	80.3%	34.9%	25.1%	17.2%	2.2%	1.2%
高校生保護者	77.8%	55.3%	48.3%	81.2%	35.6%	27.7%	16.3%	0.5%	0.9%
中学生教職員	82.5%	66.7%	54.4%	73.7%	33.3%	35.1%	24.6%	1.8%	1.8%
高校生教職員	90.9%	51.5%	51.5%	75.8%	27.3%	21.2%	9.1%	0.0%	0.0%

福祉のイメージ（わからない、イメージできない）の割合



	やりがい	社会的な評価	仕事場の雰囲気	雇用機会	キャリアアップ	働きやすさ	賃金・給与	精神的負担	身体的負担
中学生	11.4%	10.1%	12.4%	32.1%	26.7%	15.6%	22.7%	14.7%	12.9%
高校生	8.4%	7.9%	10.7%	22.4%	31.1%	13.4%	17.1%	6.6%	5.5%
中学生保護者	11.8%	8.3%	14.3%	13.5%	28.2%	14.5%	10.6%	2.9%	2.1%
高校生保護者	10.4%	6.8%	10.9%	10.9%	27.2%	14.5%	9.3%	2.5%	1.8%
中学生教職員	7.0%	10.5%	22.8%	12.3%	26.3%	12.3%	10.5%	5.3%	5.3%
高校生教職員	3.0%	6.1%	12.1%	9.1%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%

本調査の結果、「やりがい」「精神的負担」「身体的負担」等の項目で全調査対象が同様のイメージを持つ一方、一部項目については中学生・高校生と保護者・教員で、傾向が異なることが分かった。

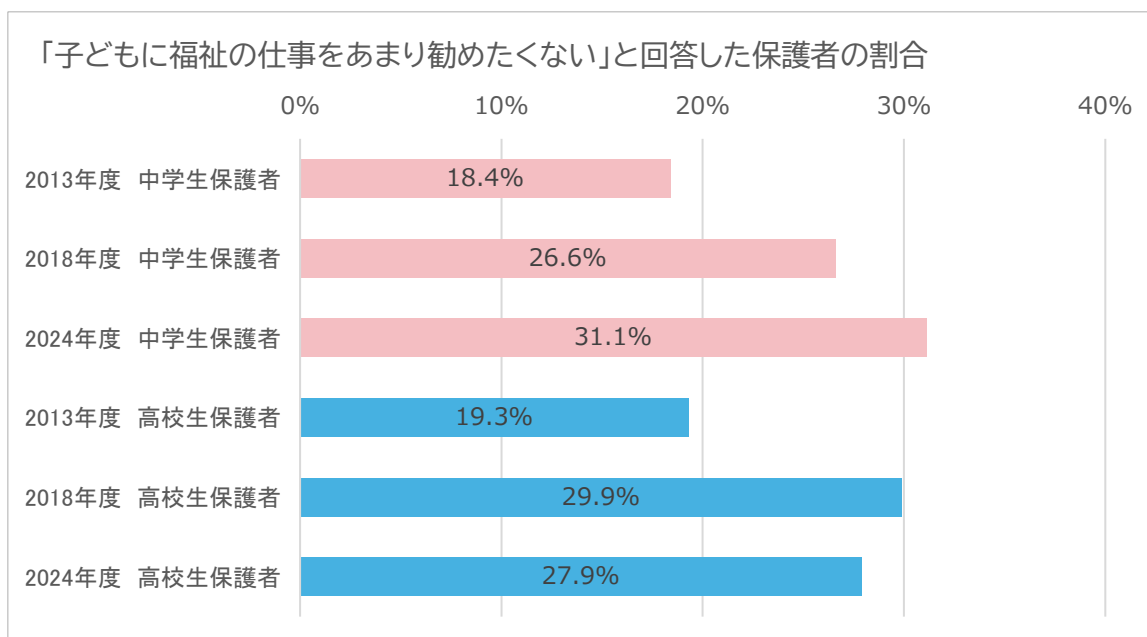
「社会的な評価」の項目で中学生 82.2%、高校生 79.4%が肯定的な評価をする一方、保護者・教員では肯定的な評価が 10 ポイント以上低くなっている。また、「仕事場の雰囲気」、「キャリアアップ」「働きやすさ」「賃金・給与」の項目についても、中学生・高校生と比較して、保護者・教員では肯定的な評価が低くなっている。一方で、「雇用機会」の項目については、中学生・高校生と比較して、保護者・教員では肯定的な評価が高くなっている。

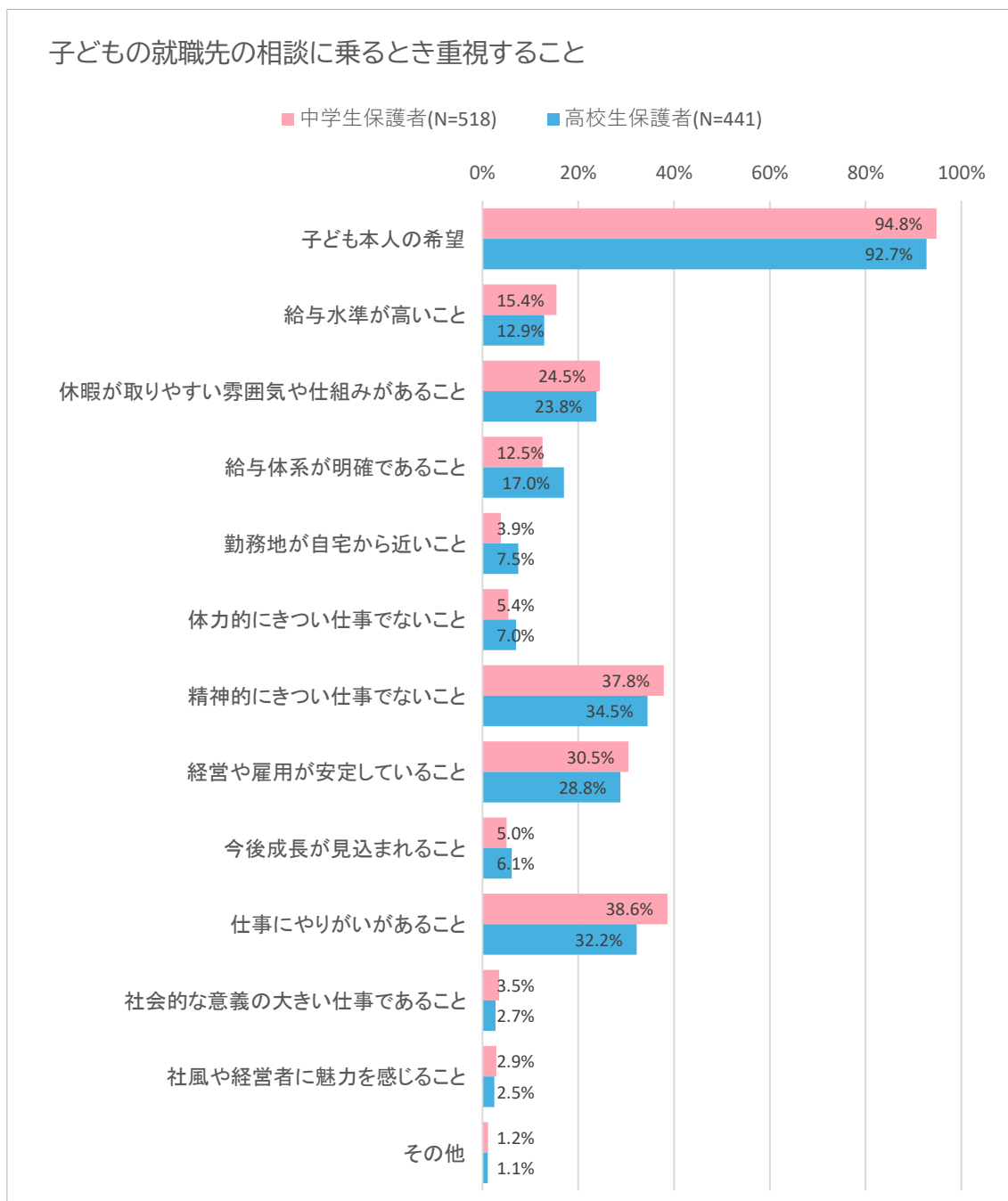
全調査対象において、「キャリアアップ」の項目で 25%以上が「わからない、イメージできない」と回答している他、「雇用機会」の項目で中学生は 32.1%、高校生は 22.4%が「わからない、イメージできない」と回答している。

■保護者の子どもの進路に関する意識

○約3割の保護者が、子どもに福祉の仕事を「あまり勧めたくない」と回答

○一方で、「子どもの就職先の相談に乗るとき重視すること」では、9割以上の保護者が「子ども本人の希望」を重視すると回答





「子どもの就職先の相談に乗るとき重視すること」では、「子ども本人の希望」が最も多くなっており、次いで「精神的にきつい仕事でないこと」、「仕事にやりがいがあること」、「経営や雇用が安定していること」、「休暇が取りやすい雰囲気や仕組みがあること」といった項目が高くなっている。

「子どもに福祉の仕事あまり勧めたくない」と回答した保護者の割合は、中学生の保護者は31.1%、高校生の保護者は27.9%である。一方で、「子どもの就職先の相談に乗るとき重視すること」では、「子ども本人の希望」が中学生の保護者は94.8%、高校生の保護者は92.7%であり、最終的には子ども本人の希望を尊重することが確認できる。しかしながら、進路を決める際の相談相手は、9割以上の生徒が「保護者」と回答しており、保護者をもつイメージが生徒のイメージに影響を与えている可能性があると考えられる。

■福祉の仕事の希望する生徒の傾向

○「まわりに福祉の仕事に就いている人のいる」場合や「福祉施設等での体験がある」場合は、「ない」場合に比べて福祉の仕事希望する割合が高い。

○「福祉の仕事を目指したきっかけ」は、「身近に福祉の仕事に就いている人がいる」が最も多い。

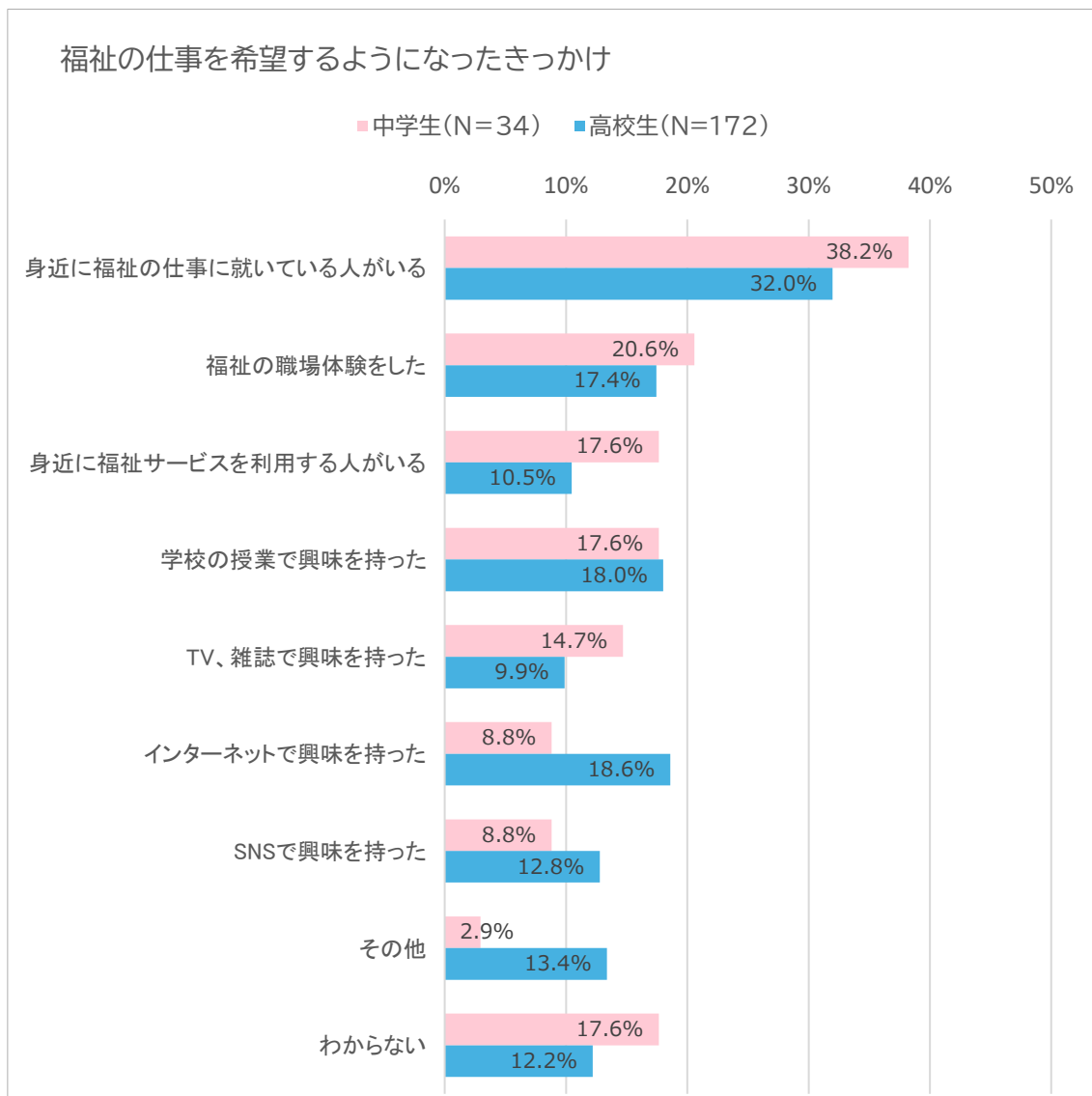
【中学生】(p5 再掲)

		将来の選択肢として福祉の仕事の希望					
		N数	希望している	少し希望している	あまり希望していない	希望していない	わからない
まわりに福祉の仕事に就いている人の有無	いる	447	9.6%	13.2%	33.3%	31.5%	12.3%
	いない	345	3.2%	7.5%	31.6%	47.0%	10.7%
	わからない	422	3.8%	7.6%	27.7%	40.0%	20.9%
福祉施設等での体験の有無	ある	386	9.1%	17.1%	31.1%	29.3%	13.5%
	ない	601	4.0%	6.0%	30.8%	47.4%	11.8%
	わからない	227	4.8%	6.6%	30.8%	32.6%	25.1%

【高校生】(p12 再掲)

		将来の選択肢として福祉の仕事の希望					
		N数	希望している	少し希望している	あまり希望していない	希望していない	わからない
まわりに福祉の仕事に就いている人の有無	いる	442	14.7%	8.6%	21.7%	49.8%	5.2%
	いない	526	4.8%	4.9%	21.9%	63.9%	4.6%
	わからない	251	3.6%	3.6%	23.9%	56.2%	12.7%
福祉施設等での体験の有無	ある	335	16.7%	10.4%	21.2%	42.7%	9.0%
	ない	741	5.1%	4.6%	21.5%	65.0%	3.8%
	わからない	143	3.5%	2.8%	28.7%	50.3%	14.7%
通っている学科・コース	福祉系	83	49.4%	16.9%	10.8%	16.9%	6.0%
	福祉系以外	1,136	5.1%	5.2%	23.1%	60.1%	6.5%

まわりに福祉の仕事についている人の「いる」場合は、「いない」場合と比べて、福祉の仕事希望する割合が高い。また、福祉施設等でのボランティア体験等が「ある」場合は、「ない」場合と比べて福祉の仕事希望する割合が高い。



「福祉の仕事を希望する」と回答した者の「福祉の仕事を志望するようになったきっかけ」は、「身近に福祉の仕事に就いている人がいる」が中学生は 38.2%、高校生は 32.0%で志望のきっかけの中で最も多い。また、「福祉の職場体験をした」「身近に福祉サービスを利用する人がいる」「学校の授業により興味を持った」「TV、雑誌で興味を持った」「インターネットで興味を持った」「SNSで興味を持った」者もそれぞれ一定数おり、福祉の仕事を希望するきっかけは様々であることが確認できる。

2 課題改善に向けた提案

(1) 福祉業界の働きやすい職場づくりの推進

福祉の仕事のイメージを改善するためには、福祉の仕事に従事している人が今後も働き続けることができる環境づくりが不可欠である。また、本調査結果からも分かるとおり、単に社会的意義ややりがいを充足するだけでなく、職員の働きやすい職場づくりが必要である。

働きやすい職場づくりとして、例えば、給与体系の明確化や処遇改善等の賃金・給与に関する取組、介護ロボット・ICT等のテクノロジーを活用した職員の負担軽減の取組、柔軟な勤務体制の構築等、職員のワーク・ライフ・バランスを実現できる仕組みづくり等の取組が求められる。

(2) 福祉の仕事について、正しい情報を伝える取組の実施

① 生徒に対する情報発信、福祉に関する体験等の機会の提供

ボランティア等の体験を経験した生徒は、福祉の仕事に興味・関心を持つ割合が高くなることから、本調査結果から分かるため、ボランティア・職場体験等の魅力発信の活動を引き続き、丁寧に行っていくことが重要である。

福祉施設自身が行う施設利用者の家族や地域住民との交流体験等の活動は、コロナ禍以降、感染症の拡大防止等のため開催を休止・縮小しているケースが多くなっているため、行政・福祉系団体・学校等が中心となって、県内で福祉に接する機会や情報発信する場を確保していく必要がある。

また、本調査結果によると、「TV、雑誌」「インターネット」「SNS」により福祉の仕事に興味を持ったと生徒も一定数おり、ボランティアや職場体験等の直接的な体験の機会による魅力発信の取組に加えて、多様な媒体や手段で魅力発信することも重要である。

② 地域のモデルとなる施設の育成

(1)で述べたとおり、福祉業界の働き方をより一層改善していく必要がある中、介護分野においては介護ロボット・ICT等のテクノロジーの普及が始まっており、働きやすい職場づくりの取組が進められている。テクノロジー等を活用して働きやすい職場づくりを行う施設をモデルとして育成するとともに、県内の福祉施設へ横展開を促進する必要がある。また、先進的な取組を進める福祉の職場やいきいきと働く職員の現状を、生徒等に発信していくことが重要である。

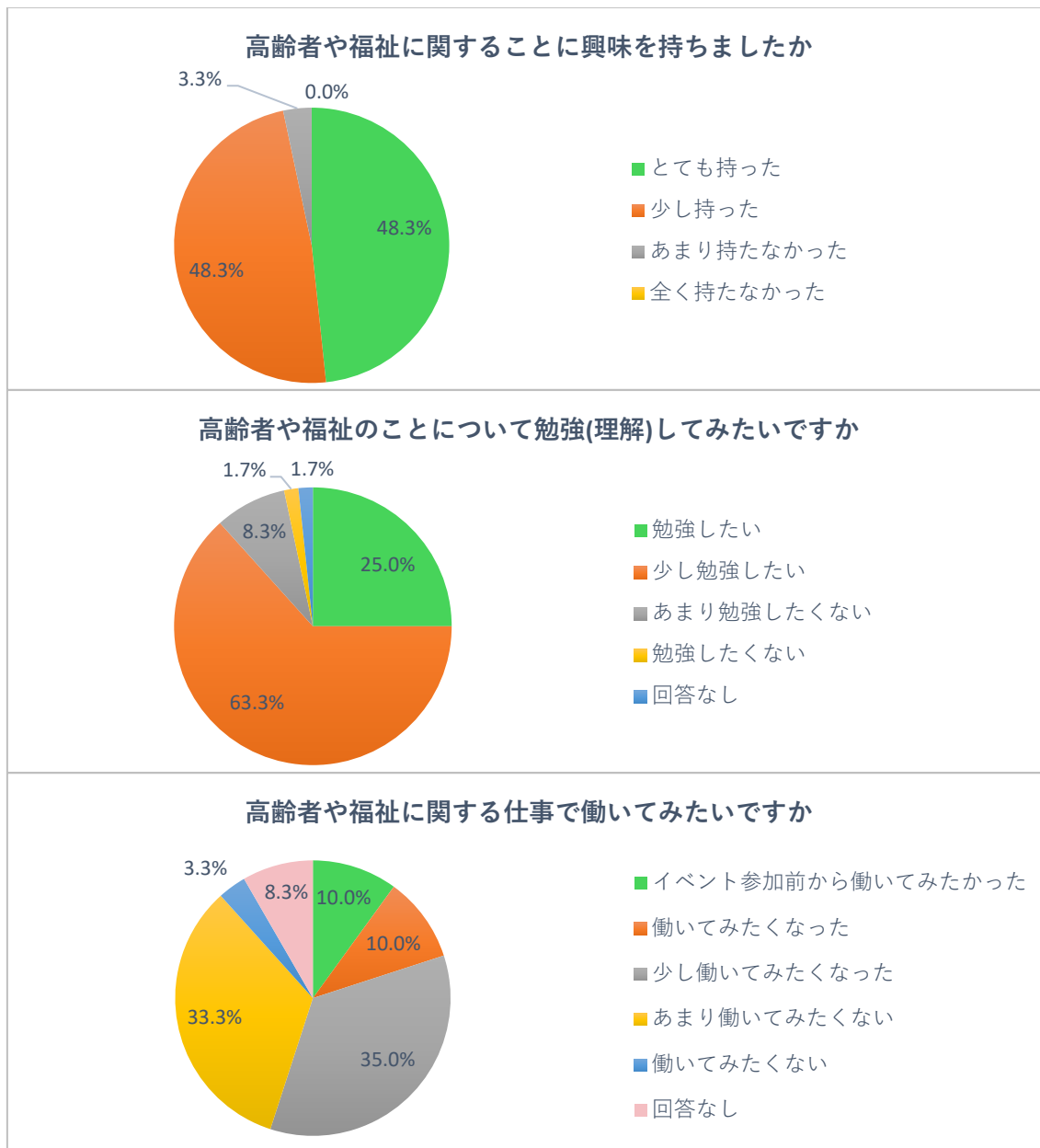
③ 保護者等に対する情報発信

本調査結果によると、保護者の持つ福祉へのイメージが、生徒への福祉へのイメージに一定影響を与えていることが読み取れる。そのため、生徒本人だけでなく、生徒の進路に影響を与える保護者等に対しても、福祉の魅力を発信していくことが重要である。

本会が主催したみえ福祉・介護フェア 2023 では、小学生と一緒に保護者等も学べる謎解き型のイベントを実施し、536名が参加した。以下に参加者アンケート結果(保護者)を示すが、イベントをきっかけに「高齢者や福祉に関することに興味を持った方」が95.2%、「高齢者や福祉のことについて勉強してみたいな方」が88.3%、「高齢者や福祉に関する仕事で働いてみたいな方」が45%となった。

このことから、生徒をターゲットに魅力発信する取組であっても、保護者も巻き込む仕掛けを行うことで、保護者に対する魅力発信することが合わせてできることが分かる。また、参加者を多数集め、魅力発信をする方法として、体験型(謎解き等)のイベントが効果的であることが分かる。

■みえ福祉・介護フェア 2023 アンケート結果より抜粋



本会では、本調査の結果を踏まえ、関係団体や学校関係者の方々と連携し、福祉の仕事の魅力を発信する取組を進めていきます。また、福祉の仕事に関する情報提供や職業紹介を行うほか、研修や資格取得支援を通じて、福祉人材の確保に向けた取組を推進していきます。

最後に、本調査の実施にあたり、ご協力をいただきました生徒・保護者・教職員の方々をはじめ、三重県教育委員会・各市町等教育委員会の皆様に感謝申し上げます。

Q4.“福祉の仕事”について、どのようなイメージをお持ちか教えてください。

①～⑨それぞれに、あてはまるもの1つを選択してください。

例:仕事場の雰囲気	① 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
①仕事場の雰囲気	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
②社会的な評価	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
③雇用機会 (働く場所の数)	1 多い	2 やや多い	3 やや少ない	4 少ない	5 わからない、 イメージできない
④賃金・給与	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
⑤働きやすさ (労働時間、休日)	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
⑥やりがい	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑦身体的負担 (体力的な疲れ)	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑧精神的負担 (ストレス)	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑨キャリアアップ	1 しやすい	2 ややしやすい	3 ややしにくい	4 しにくい	5 わからない、 イメージできない

※⑨キャリアアップとは、より高い専門的知識や能力、資格を身につけること、地位や経歴を高くすることです

Q5.あなたは福祉の仕事に関心や興味がありますか。

1.ある 2.どちらかといえばある 3.どちらかといえばない 4.ない 5.わからない

Q6.あなたは将来の進路の選択肢として、福祉の仕事を希望していますか。

1.希望している 2.少し希望している 3.あまり希望していない 4.希望していない
5.わからない

Q6-2. Q6で「希望している」、「少し希望している」と答えた方は、どのような分野(仕事)を希望していますか。(複数回答可)

1.高齢者 2.障がい児・者 3.児童 4.その他() 5.わからない

Q6-3. Q6で「希望している」、「少し希望している」と答えた方は、どのようなことがきっかけで希望するようになりましたか。(複数回答可)

1.身近に福祉の仕事に就いている人がいる 2.福祉の職場体験をした
3.身近に福祉サービスを利用する人がいる 4.学校の授業で興味を持った
5.TV、雑誌で興味を持った 6.インターネットで興味を持った
7.SNSで興味を持った 8.その他() 9.わからない

Q7.あなたは、進路を決めるときに誰に相談しますか。(複数回答可)

1.保護者 2.兄弟・姉妹 3.親戚 4.友人・知り合い 5.学校の先生
6.その他() 7.わからない

Q8.あなたは、進路についての情報はどこから入手していますか。(複数回答可)

1.保護者 2.兄弟・姉妹 3.親戚 4.友人・知り合い 5.学校の先生 6.TV、雑誌
7.インターネット 8.SNS 9.その他() 10.わからない

質問は以上です。お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきましてありがとうございました。

■生徒用調査票（高校）

生徒用（高校）

福祉の仕事に関する意識調査 調査票

このアンケートは、「福祉・介護の魅力発信事業（三重県委託事業）」の一環として実施し、生徒（中学2年生及び高校2年生）の皆さんの福祉の仕事に対するイメージを調査し、福祉職場の魅力促進を図る取組の参考とさせていただきます。

アンケートの結果は、上記の目的以外には使用しませんので、率直なご意見をお聞かせください。

この調査について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 三重県福祉人材センター

TEL 059-227-5160（平日 9～17時）

回答方法

二次元コードを読み取り、回答フォームに入力してください。

回答期日 11月29日（金）

二次元
コード

このアンケート調査における「福祉の仕事」とは、以下の仕事のことで、

1. 介護の仕事(ケアワーカー、ホームヘルパー等)
2. 保育の仕事(保育士、保育教諭)
3. 障がい者の自立を支援する仕事（生活支援員、就労支援員）
4. 相談・援助・調整の仕事(ケアマネージャー、ソーシャルワーカー、相談支援専門員等)
5. 看護やリハビリの仕事(看護師、理学療法士等)

Q1.あなたの性別を教えてください。

- 1.男 2.女 3.どちらともいえない、または、答えたくない

Q2.あなたの通っている学校の学科・コースを教えてください。

- 1.福祉系の学科・コース 2.それ以外の学科・コース 3.わからない

Q3.あなたのまわりに福祉の仕事に就いている、または就いていた人はいますか。

- 1.いる 2.いない 3.わからない

Q3-2. Q3で「いる」と回答した方は、誰が福祉の仕事に就いている、または就いていましたか。(複数回答可)

- 1.保護者 2.兄弟・姉妹 3.親戚 4.友人・知り合い 5.その他()
6.わからない

Q4.あなたは福祉施設等でボランティア体験・職場体験・交流行事などに参加したことがありますか。

- 1.ある 2.ない 3.わからない

Q4-2. Q4で「ある」と回答した方は、どのようなことを経験しましたか。(複数回答可)

- 1.職場体験・インターンシップ 2.交流体験 3.ボランティア体験
4.その他() 5.わからない

※ 裏面の項目もご回答ください。

Q5.“福祉の仕事”について、どのようなイメージをお持ちか教えてください。

①～⑨それぞれに、あてはまるもの1つを選択してください。

例:仕事場の雰囲気	① 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
①仕事場の雰囲気	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
②社会的な評価	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
③雇用機会 (働く場所の数)	1 多い	2 やや多い	3 やや少ない	4 少ない	5 わからない、 イメージできない
④賃金・給与	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
⑤働きやすさ (労働時間、休日)	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
⑥やりがい	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑦身体的負担 (体力的な疲れ)	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑧精神的負担 (ストレス)	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑨キャリアアップ	1 しやすい	2 ややしやすい	3 ややしにくい	4 しにくい	5 わからない、 イメージできない

※⑨キャリアアップとは、より高い専門的知識や能力、資格を身につけること、地位や経歴を高くすることです

Q6.あなたは福祉の仕事に関心や興味がありますか。

- 1.ある 2.どちらかといえばある 3.どちらかといえばない 4.ない 5.わからない

Q7.あなたは将来の進路の選択肢として、福祉の仕事を希望していますか。

- 1.希望している 2.少し希望している 3.あまり希望していない 4.希望していない 5.わからない

Q7-2. Q7で「希望している」、「少し希望している」と答えた方は、どのような分野(仕事)を希望していますか。(複数回答可)

- 1.高齢者 2.障がい児・者 3.児童 4.その他() 5.わからない

Q7-3. Q7で「希望している」、「少し希望している」と答えた方は、どのようなことがきっかけで希望するようになりましたか。(複数回答可)

- 1.身近に福祉の仕事に就いている人がいる 2.福祉の職場体験をした
3.身近に福祉サービスを利用する人がいる 4.学校の授業で興味を持った
5.TV、雑誌で興味を持った 6.インターネットで興味を持った
7.SNSで興味を持った 8.その他() 9.わからない

Q8.あなたは、進路を決めるときに誰に相談しますか。(複数回答可)

- 1.保護者 2.兄弟・姉妹 3.親戚 4.友人・知り合い 5.学校の先生
6.その他() 7.わからない

Q9.あなたは、進路についての情報はどこから入手していますか。(複数回答可)

- 1.保護者 2.兄弟・姉妹 3.親戚 4.友人・知り合い 5.学校の先生 6.TV、雑誌
7.インターネット 8.SNS 9.その他() 10.わからない

質問は以上です。お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきましてありがとうございました。

■保護者用調査票（中学校）

保護者用（中学校）

福祉の仕事に関する意識調査 調査票

このアンケートは、三重県の委託を受け、「福祉・介護の魅力発信事業」の一環として実施し、生徒（中学2年生及び高校2年生）・保護者・教職員がもつ福祉の仕事に対するイメージを調査し、福祉職場の魅力促進を図る取組の基礎資料とすることを目的に行うものです。

アンケートの結果は統計的に処理し、上記の目的以外には使用致しませんので、率直なご意見をお聞かせください。お忙しいところ恐縮ですが、ご協力の程よろしくお願い致します。

この調査について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 三重県福祉人材センター

TEL 059-227-5160（平日 9～17時）

回答方法について

◆二次元コードを読み取り、期日までに回答フォームに入力してください。

◆回答期日 11月29日（金）



このアンケート調査における「福祉の仕事」とは、以下の仕事のことで

1. 介護の仕事(ケアワーカー、ホームヘルパー等)
2. 保育の仕事(保育士、保育教諭)
3. 障がい者の自立を支援する仕事（生活支援員、就労支援員）
4. 相談・援助・調整の仕事(ケアマネージャー、ソーシャルワーカー、相談支援専門員等)
5. 看護やリハビリの仕事(看護師、理学療法士等)

Q1.あなた（保護者）の性別を教えてください。

1. 男
2. 女
3. どちらともいえない、または、答えたくない

Q2.あなた（保護者）のまわりに福祉の仕事に就いている、または就いていた人はいますか。

1. いる
2. いない
3. わからない

Q2-2. Q2で「いる」と回答した方は、誰が福祉の仕事に就いている、または就いていましたか。

あなたから見た属性でお答えください。（複数回答可）

- 1.自分
- 2.配偶者
- 3.親戚
- 4.友人・知り合い
- 5.子ども
- 6.その他()
- 7.わからない

※ 裏面の項目もご回答ください。

Q3.“福祉の仕事”について、どのようなイメージをお持ちか教えてください。

①～⑨それぞれに、あてはまるもの1つを選択してください。

例:仕事場の雰囲気	① 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
①仕事場の雰囲気	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
②社会的な評価	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
③雇用機会 (働く場所の数)	1 多い	2 やや多い	3 やや少ない	4 少ない	5 わからない、 イメージできない
④賃金・給与	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
⑤働きやすさ (労働時間、休日)	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
⑥やりがい	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑦身体的負担 (体力的な疲れ)	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑧精神的負担 (ストレス)	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑨キャリアアップ	1 しやすい	2 ややしやすい	3 ややしにくい	4 しにくい	5 わからない、 イメージできない

Q4.お子様に福祉分野への進路を勧めたいと思いますか。

1.勧めたい 2.子どもが希望すれば勧めてもよい 3.あまり勧めたくない 4.わからない

Q5.お子様の就職先の相談に乗るとき、どういった点を重視し、進路を勧めたいと思いますか。(複数回答可 最大3つまで選択してください)

- 1.子ども本人の希望
- 2.給与水準が高いこと
- 3.休暇が取りやすい雰囲気や仕組みがあること
- 4.給与体系が明確であること
- 5.勤務地が自宅から近いこと
- 6.体力的にきつい仕事でないこと
- 7.精神的にきつい仕事でないこと
- 8.経営や雇用が安定していること
- 9.今後成長が見込まれること
- 10.仕事にやりがいがあること
- 11.社会的な意義の大きい仕事であること
- 12.社風や経営者に魅力を感じることに
- 13.その他 ()

質問は以上です。お忙しい中、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

■保護者用調査票（高校）

保護者用（高校）

福祉の仕事に関する意識調査 調査票

このアンケートは、三重県の委託を受け、「福祉・介護の魅力発信事業」の一環として実施し、生徒（中学2年生及び高校2年生）・保護者・教職員がもつ福祉の仕事に対するイメージを調査し、福祉職場の魅力促進を図る取組の基礎資料とすることを目的に行うものです。

アンケートの結果は統計的に処理し、上記の目的以外には使用致しませんので、率直なご意見をお聞かせください。お忙しいところ恐縮ですが、ご協力の程よろしくお願い致します。

この調査について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 三重県福祉人材センター

TEL 059-227-5160（平日 9～17時）

回答方法について

◆二次元コードを読み取り、期日までに回答フォームに入力してください。

◆回答期日 11月29日（金）



このアンケート調査における「福祉の仕事」とは、以下の仕事のことです。

1. 介護の仕事(ケアワーカー、ホームヘルパー等)
2. 保育の仕事(保育士、保育教諭)
3. 障がい者の自立を支援する仕事（生活支援員、就労支援員）
4. 相談・援助・調整の仕事(ケアマネージャー、ソーシャルワーカー、相談支援専門員等)
5. 看護やリハビリの仕事(看護師、理学療法士等)

Q1.あなた（保護者）の性別を教えてください。

1. 男
2. 女
3. どちらともいえない、または、答えたくない

Q2. このアンケート用紙を持ち帰られたお子様の通っている学校の学科・コースを教えてください。

1. 福祉系の学科・コース
2. それ以外の学科・コース
3. わからない

Q3. あなた（保護者）のまわりに福祉の仕事に就いている、または就いていた人はいますか。

1. いる
2. いない
3. わからない

Q3-2. Q3で「いる」と回答した方は、誰が福祉の仕事に就いている、または就いていましたか。

あなたから見た属性でお答えください。（複数回答可）

1. 自分
2. 配偶者
3. 親戚
4. 友人・知り合い
5. 子ども
6. その他()
7. わからない

※ 裏面の項目もご回答ください。

Q4.“福祉の仕事”について、どのようなイメージをお持ちか教えてください。

①～⑨それぞれに、あてはまるもの1つを選択してください。

例:仕事場の雰囲気	① 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
①仕事場の雰囲気	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
②社会的な評価	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
③雇用機会 (働く場所の数)	1 多い	2 やや多い	3 やや少ない	4 少ない	5 わからない、 イメージできない
④賃金・給与	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
⑤働きやすさ (労働時間、休日)	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
⑥やりがい	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑦身体的負担 (体力的な疲れ)	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑧精神的負担 (ストレス)	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑨キャリアアップ	1 しやすい	2 ややしやすい	3 ややしにくい	4 しにくい	5 わからない、 イメージできない

Q5.お子様に福祉分野への進路を勧めたいと思いますか。

1.勧めたい 2.子どもが希望すれば勧めてもよい 3.あまり勧めたくない 4.わからない

Q6.お子様の就職先の相談に乗るとき、どういった点を重視し、進路を勧めたいと思いますか。(複数回答可 最大3つまで選択してください)

- 1.子ども本人の希望
- 2.給与水準が高いこと
- 3.休暇が取りやすい雰囲気や仕組みがあること
- 4.給与体系が明確であること
- 5.勤務地が自宅から近いこと
- 6.体力的にきつい仕事でないこと
- 7.精神的にきつい仕事でないこと
- 8.経営や雇用が安定していること
- 9.今後成長が見込まれること
- 10.仕事にやりがいがあること
- 11.社会的な意義の大きい仕事であること
- 12.社風や経営者に魅力を感じることに
- 13.その他 ()

質問は以上です。お忙しい中、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

■教職員用調査票（中学校）

教職員用（中学校）

福祉の仕事に関する意識調査 調査票

このアンケートは、三重県の委託を受け、「福祉・介護の魅力発信事業」の一環として実施し、生徒（中学2年生及び高校2年生）・保護者・教職員がもつ福祉の仕事に対するイメージを調査し、福祉職場の魅力促進を図る取組の基礎資料とすることを目的に行うものです。

アンケートの結果は統計的に処理し、上記の目的以外には使用致しませんので、率直なご意見をお聞かせください。お忙しいところ恐縮ですが、ご協力の程よろしくお願い致します。

この調査について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 三重県福祉人材センター

TEL 059-227-5160（平日 9～17時）

回答方法

二次元コードを読み取り、期日までに回答フォームに入力してください。

回答期日 11月29日（金）



このアンケート調査における「福祉の仕事」とは、以下の仕事のことで、

1. 介護の仕事(ケアワーカー、ホームヘルパー等)
2. 保育の仕事(保育士、保育教諭)
3. 障がい者の自立を支援する仕事(生活支援員、就労支援員)
4. 相談・援助・調整の仕事(ケアマネージャー、ソーシャルワーカー、相談支援専門員等)
5. 看護やリハビリの仕事(看護師、理学療法士等)

Q1.あなた（教職員）の性別を教えてください。

1. 男 2. 女 3. どちらともいえない、または、答えたくない

Q2.あなた（教職員）のまわりに福祉の仕事に就いている、または就いていた人はいますか。

1. いる 2. いない 3. わからない

Q2-2. Q2で「いる」と回答した方は、誰が福祉の仕事に就いている、または就いていましたか。

あなたから見た属性でお答えください。（複数回答可）

- 1.自分 2.配偶者 3.親戚 4.友人・知り合い 5.子ども 6.その他()
7.わからない

※ 裏面の項目もご回答ください。

Q3.“福祉の仕事”について、どのようなイメージをお持ちか教えてください。

①～⑨それぞれに、あてはまるもの1つを選択してください。

例:仕事場の雰囲気	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
①仕事場の雰囲気	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
②社会的な評価	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
③雇用機会 (働く場所の数)	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
④賃金・給与	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
⑤働きやすさ (労働時間、休日)	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
⑥やりがい	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑦身体的負担 (体力的な疲れ)	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑧精神的負担 (ストレス)	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑨キャリアアップ	1 しやすい	2 ややしやすい	3 ややしにくい	4 しにくい	5 わからない、 イメージできない

Q4.生徒に福祉分野への進路を勧めたいと思いますか。

1.勧めたい 2.生徒が希望すれば勧めてもよい 3.あまり勧めたくない 4.わからない

Q5.福祉の仕事について、生徒に興味・関心をもってもらうためには、どのようなことが有効だと思えますか。(複数回答可)

1.福祉施設の見学・体験 2.福祉施設職員等の講話 3.資格や職場に関する情報提供
4.その他() 5.わからない

Q5-2. Q5で選んだ内容に関して、具体的にどのような内容が有効だと思うか、教えてください。

Q6.福祉人材センターが実施する、福祉・介護の仕事学習セミナーや職場体験事業等を活用したいと思えますか。

1.活用したい 2.どちらでもない 3.活用は考えていない 4.わからない

▼福祉・介護の仕事学習セミナーについて



▼職場体験事業について



質問は以上です。お忙しい中、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

■教職員用調査票（高校）

教職員用（高校）

福祉の仕事に関する意識調査 調査票

このアンケートは、三重県の委託を受け、「福祉・介護の魅力発信事業」の一環として実施し、生徒（中学2年生及び高校2年生）・保護者・教職員がもつ福祉の仕事に対するイメージを調査し、福祉職場の魅力促進を図る取組の基礎資料とすることを目的に行うものです。

アンケートの結果は統計的に処理し、上記の目的以外には使用致しませんので、率直なご意見をお聞かせください。お忙しいところ恐縮ですが、ご協力の程よろしくお願い致します。

この調査について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 三重県福祉人材センター

TEL 059-227-5160（平日 9～17時）

回答方法

二次元コードを読み取り、期日までに回答フォームに入力してください。

回答期日 11月29日（金）



このアンケート調査における「福祉の仕事」とは、以下の仕事のことで、

1. 介護の仕事(ケアワーカー、ホームヘルパー等)
2. 保育の仕事(保育士、保育教諭)
3. 障がい者の自立を支援する仕事(生活支援員、就労支援員)
4. 相談・援助・調整の仕事(ケアマネージャー、ソーシャルワーカー、相談支援専門員等)
5. 看護やリハビリの仕事(看護師、理学療法士等)

Q1.あなた（教職員）の性別を教えてください。

1. 男 2. 女 3. どちらともいえない、または、答えたくない

Q2. あなた（教職員）は、福祉の科目を担当していますか。

1. 担当している 2. 担当していない 3. わからない

Q3. あなた（教職員）のまわりに福祉の仕事に就いている、または就いていた人はいますか。

1. いる 2. いない 3. わからない

Q3-2. Q3で「いる」と回答した方は、誰が福祉の仕事に就いている、または就いていましたか。

あなたから見た属性でお答えください。（複数回答可）

- 1.自分 2.配偶者 3.親戚 4.友人・知り合い 5.子ども 6.その他()
7.わからない

※ 裏面の項目もご回答ください。

Q4.“福祉の仕事”について、どのようなイメージをお持ちか教えてください。

①～⑨それぞれに、あてはまるもの1つを選択してください。

例:仕事場の雰囲気	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
①仕事場の雰囲気	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
②社会的な評価	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
③雇用機会 (働く場所の数)	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
④賃金・給与	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
⑤働きやすさ (労働時間、休日)	1 良い	2 やや良い	3 あまり良くない	4 良くない	5 わからない、 イメージできない
⑥やりがい	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑦身体的負担 (体力的な疲れ)	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑧精神的負担 (ストレス)	1 大きい	2 やや大きい	3 やや小さい	4 小さい	5 わからない、 イメージできない
⑨キャリアアップ	1 しやすい	2 ややしやすい	3 ややしにくい	4 しにくい	5 わからない、 イメージできない

Q5.生徒に福祉分野への進路を勧めたいと思いますか。

- 1.勧めたい 2.生徒が希望すれば勧めてもよい 3.あまり勧めたくない 4.わからない

Q6.福祉の仕事について、生徒に興味・関心をもってもらうためには、どのようなことが有効だと思いますか。(複数回答可)

- 1.福祉施設の見学・体験 2.福祉施設職員等の講話 3.資格や職場に関する情報提供
4.その他() 5.わからない

Q6-2. Q6で選んだ内容に関して、具体的にどのような内容が有効だと思うか、教えてください。

Q7.福祉人材センターが実施する、福祉・介護の仕事学習セミナーや職場体験事業等を活用したいと思いませんか。

- 1.活用したい 2.どちらでもない 3.活用は考えていない 4.わからない

▼福祉・介護の仕事学習セミナーについて



▼職場体験事業について



質問は以上です。お忙しい中、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

福祉の仕事に関する意識調査報告書
社会福祉法人 三重県社会福祉協議会
〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目 131
TEL 059-227-5160
<2025年3月発行>

